



2024 年度

海星学院高等学校シラバス

第 3 学年

	4月	5月	6月	7、8月	9月	10月	11月	12月										
文学国語	随想・評論 十八歳の選択	小説 旅する本について	小説 巨人の接待	小説 山月記	考査	探究 物語の構造	小説 山椒魚	小説 こころ	考査	小説 美神	詩・短歌・俳句 永訣の朝	書く 月の誤訳 陰影礼賛 待つ ショートストーリーを書く	小説 舞姫	考査		文学国語		
数学Ⅱ	三角関数		指数関数・対数関数			微分法・積分法								数学Ⅱ				
数学B	数列				統計的な推測				数学と社会生活				数学B					
体育	体づくり運動	体力測定	ソフトボール		サッカー		バレーボール		体育大会		バドミントン		体育理論		体育			
実践英語	Lesson1 Guide Inquiry Presentation	Lesson2 Making a Movie How to Show? How to Explain?		Lesson3 Let's become an Interviewer		Lesson4 Let's try self-assessment	Lesson5 Retelling Lesson	考査	Lesson6 Making Paragraph	Lesson7 Discussion	Lesson8 Making Script for Debate		Lesson9 Dibate	Lesson10 Free Inquiry Final Presentation		実践英語		
古典探究	古文・漢文：読み比べから主 題を考える		古文：随筆を通して自分 の者の見方を学ぶ		考査	漢文：漢詩を通して、 漢詩の制作に挑戦す る		古文： 歌物語	漢文： 史記	古文： 源氏	考査	漢文：日本 で作られた 漢文	古文：ロールブ レイングで展開 を考える	漢文：小説	漢文：思想を学 ぶ	古典 探究	考査	古典探究
化学	1編 物質の状態		2編 化学変化とエネルギー		3編 化学反応の速さと平衡			4編 無機物質		考査	4編 無機物質		5編 有機化合物			終章	考査	化学
実用国語演習	1 読み書きの基礎	2 言葉遣い	3 正しい文を書く	考査	4 伝え合うこと さまざまな表現		5 自己PRや面接 他		考査	6 実践演習 と 国語基礎力強化				考査	まとめ	実用国語演習		
時事問題研究	要約の練 習	政治分野 プレゼンテーション制作(単元テスト)			経済分野 プレゼンテーション制作(単元テスト)				社会・環境分野 プレゼンテーション制作 (単元テスト)			自由テーマ(時事問題探究)小論文作成				時事問題研究		
総合的な 探究の時間	個人探究							進路探究							総合的な 探究の時間			
物理	第1章 ささまざまな運動			考査	第2章 波			考査	第3章 電気と磁気			第4章 原子			終章	考査	物理	
生物	1編 生物の進化 (単元テスト)		2編 生命現象と物質 (単元テスト)			3編 遺伝情報の発現と発生 (単元テスト)			4編 生物の環境応答 (単元テスト)		5編 生態と環境 (単元テスト)				生物			
発展体育	フラッグフットボール 導入 編	フラッグフットボール 展開編				フラッグフットボール 結論編			ニュースポーツ 編					発展体育				
情報演習	アプリケーションソフト「ワード」による中級スピード入力・文書作成・情報デザイン(ポスター作成)							期 末 考 査	アプリケーションソフト「エクセル」による中級表計算情報処理問題演習・情報デザイン(カレンダー作成)				中 間 考 査	情報デザイン(ポスター作 成)		情報演習		
プレゼンテーション	Unit 1 Posture and eye contact	Unit 2 Gestures	Unit 3 Voice Inflection	Unit 4 Effective visuals	Unit 5 Explaining visuals	期 末 試 験	Unit 6 Story message Introduction	Unit 7 The body	Unit 8 The Conclusion	Final Presentation					プレゼンテーション			
地理探究	地形 (単元テスト)	気候 (単元テスト)	日本の自然 地球環境問題 (単元テスト)	中 間 考 査	農林水産業 食料問題 (単元テスト)	エネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 (単元テスト)	工業 第3次産業 (単元テスト)	交通・通信と観 光、貿易 (単元テスト)	期 末 考 査	人口 人口問題 (単元テスト)	村落と都市 都市・居住問題 (単元テスト)	生活文化 民族・宗教 (単元テスト)	地域 区分	現代の諸地域 中国/インド/アフリカ (単元テスト)	現代の諸地域 事例探究	持続可能な国土像の探究	地理探究	
日本史探究	第1編原始・古代の日本と東アジア 1章/2章/3章1節(単テ)/3章2節(単テ)		第2編中世の日本と世界 1章/2章/3章1節(単テ)/3章2節(単テ)			第3編近世の日本と世界 1章/2章/3章1節(単テ)/3章2節(単テ)			第4編近現代の地域・日本と世界 1章/2章/3章1節(単テ×3)/3章2節(単テ×2)/3章3節(単テ×2)/4章/5章					日本史探究				
世界史探究	世界史へのまなざし・諸地域の歴 史的特質への問い・古代文明(単 元テスト)		諸地域の歴史的特 質(単元テスト)	諸地域の交流・ユー ラシア諸地域	中 間 試 験	アジア諸地域とヨー ロッパの再編(単元 テスト)	諸地域の結合・変 容・世界市場 (単元テスト)	帝国主義とナショナリズム の高揚	期 末 試 験	第二次世界大戦と 諸地域の変容(単 元テスト)	地球世界の課題・ 脱植民地化(単元 テスト)	国際秩序の 変容(単元テ スト)	科学技術の 高度化(単元 テスト)	地球世界の課題の探究			世界史探究	
数学C	平面のベクトル (単元テスト)			空間のベクトル (単元テスト)				複素数平面 (単元テスト)			数学C							
発展数学	関数(分数・無理関数、逆関数、合成関数)(単元テスト)			極限(数列の極限、関数の極限) (単元テスト)				微分法 (単元テスト)			積分法 (単元テスト)			発展数学				

2024年度国語科シラバス・年間指導計画

科目名	文学国語			教科書	『文学国語』大修館書店 最新国語便覧浜島書店
学年	3	単位数	4	必修	副教材 『文学国語学習ノート』大修館書店

学習目標	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【知識及び技能】・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
学習の進め方	<p>自分の力で文章を読解する活動が中心となります。ワークシートや学習ノートを使用しながら読解をしていきます。ワークシートや学習ノートは期限を守って提出するようにしましょう。主体的に作品を詠み味わい、今後の自分の人生や今の自分の生き方について考えていきます。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能②…思考・判断・表現③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>ア言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解</p> <p>イ情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>ウ文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めようとしている。</p> <p>① エ文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができるようにしている。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する事項</p> <p>ア文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。</p> <p>イ人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めようとしている。</p>
	<p>② A書くこと</p> <p>ア文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができるようにしている。</p> <p>イ読み手の関心が得られるう、文章の構成や展開を工夫しようとしている。</p> <p>ウ文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫しようとしている。</p> <p>エ文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助</p>

	<p>言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。</p> <p>C読むこと</p> <p>A文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができるようにしている。</p> <p>E語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができるようにしている。</p> <p>U他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている</p> <p>E文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができるようにしている。</p> <p>O作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。</p>
③	<p>A筆者や登場人物の考え方をとらえ、想像することや共感することを通して、自分の生き方について考えを深めようとしている。</p> <p>E作者のものの見方を通して、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。</p> <p>U自らの力で主体的に本文を読み解き、内容や構成を正確に把握する力や、他者との対話や議論を通して、他者の考えに共感する力を身につけている。</p>

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
		4	I 随想・評論(一) 『十八歳の選択』	<p>①筆者の経験にもとづいた考えを読み取る。</p> <p>②自身の人生における「選択」について考える。</p> <p>③自分の体験や、その体験をとおして感じたことを伝える。</p>	<p>①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</p> <p>②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>③筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することを通して、自分の生き方について考えを深めようとしている。</p>	ワークシート		●	●
		2	【書く①】 体験に基づいて書く		<p>①情感の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>②「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>③自分が文章を通じて伝えたいことを明確にした上で、情感の豊かさや心情の機微を表す語句を用いて表現しようとしている。</p>	ワークシート		●	●
		4	文学をよむために① 2小説(一) 『旅する本について』 【展開】「旅する本」について	<p>①登場人物の描写を的確にとらえる。</p> <p>②語り手の役割を意識する。</p>	<p>①文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。</p> <p>・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</p> <p>②「読むこと」において、文章の種類</p>	ワークシート	●	●	●

				をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 ③登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	学習ノート	●	●	
5 6	8	2 小説（一） 巨人の接待	①語り手の視点による人物像を読み取る。	①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 ③登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	ワークシート	●	●	●
					学習ノート	●	●	
5 6	8	3 小説（二） 山月記	①李徴の心情や境遇を理解する。	①文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ③文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	ワークシート	●	●	●
					学習ノート	●	●	
6 7	2	前期中間考査・返却				●	●	
	2	【探究】翻案が広げる世界	①翻案作品に触れ、小説教材の理解を深める。 ・翻案作品と元の作品との比較をとおして作者の意図に迫る。	①文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の作品などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ③登場人物のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感、または批判的に考察することをとおして、自分の生き方について考えを深めている。”	ワークシート	●	●	●
	1	【文学を読むために】物語の構造			ワークシート	●		
	8	3 小説（三） 山椒魚	②構成や表現の効果に着目しながら、寓意的な表現に込められた主題を読み取る。 ③登場人物の境遇と心情を理解し、今後の自分自身の人生について考える。	①文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	ワークシート	●	●	●
					学習ノート	●	●	
					成果物		●	●

				③作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。 ③登場人物のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感、または批判的に考察することをとおして、自分の生き方について考えを深めている。					
8 - 9	12	6 小説（四） 『ころ』	①登場人物の心情理解をとおして、自己の生き方や他者との関わりを学ぶ。 ②本格的な小説を読み味わうことで、読解に必要な総合的な力をつける。	①情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ③登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート	●	●	●	
					学習ノート	●	●		
	2	前期期末考査・返却					●	●	
後 期	1	【文学の扉】 青年と近代文学			ワークシート	●			
	1	【文学を読むために】 登場人物の状況			ワークシート	●			
	9 - 10	7	7 小説（五） 『美神』	①舞台設定や時代背景をふまえて読む。 ②人物描写や表現効果に着目しながらテーマを考え、共有する。	①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 ③舞台設定や時代背景をおさえ、作品のテーマについて考えを深めようとしている。	ワークシート	●	●	●
						学習ノート	●	●	
		3	9 詩・短歌・俳句 永訣の朝	①詩の表現世界をとおして、作者の心情を読み取る。	①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ②「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。[B(1)イ] ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ③韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート	●	●	●
					学習ノート	●	●		
10 - 11	5	【書く】心情を描写する	①心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。	①情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 ③心情を生き生きと描写し、読み手の共感を得るためにふさわしい言葉や表現について吟味し、理解を深めようとしている。	ワークシート	●	●		
					成果物	●	●		
	4	8 随想・評論（三） 月の誤訳	・翻訳の視点から日本の言語文化の特徴をとらえる。	①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ②文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や	ワークシート	●	●	●	

			<p>解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>③作者のものの見方とおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。</p>	学習ノート	●	●	
5	<p>随想・評論（三）</p> <p>【書く③】構成を考え書く</p>	<p>・印象的に伝えるために構成を工夫する。</p>	<p>①文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。</p> <p>・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>②印象的に伝えるために構成を工夫して文章を書き、読み合うことを通じて、文章の構成の工夫について考えを深めようとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>成果物</p>	●	●	●
6	<p>4 随想・評論（二）</p> <p>『陰翳礼讃』</p> <p>【展開】闇と光</p>	<p>①日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。</p> <p>②日本の伝統的な価値観やその変化について考える。”</p>	<p>①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</p> <p>②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。</p> <p>・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。</p> <p>③筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深めようとしている。”</p>	<p>ワークシート</p> <p>学習ノート</p>	●	●	●
6	<p>5 小説（三）</p> <p>『待つ』</p>	<p>①登場人物の視点をとおして、作品の世界を批判的にとらえ、想像を広げる。</p> <p>②多彩な文章表現を味わい、言葉の感性を磨く。</p>	<p>①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</p> <p>②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>③登場人物のものの見方を押さえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>学習ノート</p>	●	●	●
6	<p>【書く】⑦</p> <p>ショートストーリーを書く</p>	<p>①学んできたことを活用して、ショートストーリーを書く。</p>	<p>①文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。</p> <p>②「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。</p> <p>③これまでの学習内容を活用しながらショートストーリーを書き、他者からの指摘をもとによりよい文章を目指して修正しようとしている。”</p>	<p>ワークシート</p> <p>成果物</p>	●	●	●
1	<p>【文学を読むために】</p> <p>小説の語り手</p>			ワークシート	●		
16	<p>6 小説（四）</p> <p>舞姫</p>	<p>①明治という時代背景・舞台設定の意味を考える。</p> <p>②登場人物の境遇と心情を理解する。</p>	<p>①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</p> <p>②「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内</p>	ワークシート	●	●	●

				容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ③作品の構造に興味をもち、日常とは異なる世界への想像を広げながら、作品を読み味わおうとしている。	学習ノート	●	●	
	2	学年末考査・返却				●	●	
	4	6 小説（四） 舞姫	登場人物の境遇と心情を理解し、今後の自分自身の人生について考える。	③登場人物のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感、または批判的に考察することをおして、自分の生き方について考えを深めている。	成果物	●	●	

2024年度 数学科 シラバス・年間指導計画

科目名	数学Ⅱ			教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)
学年	3	単位数	2 (2学年に引き続き)	必修	副教材 書き込み式シリーズ 教科書傍用 Study-Up ノート 新課程 標準 数学Ⅱ (数研出版)

学習目標	いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに, それらを活用する態度を育てる。
学習の進め方	テキストプリントを配布する。授業は講義やグループワーク等を通じて進める。クロムブック等も活用する。演習等にも時間をかけるようにする。特に予習の必要はないが, しっかり復習をすること。復習・まとめのための課題を課すこともある。教科内容を単に暗記するのではなく, 得た知識を整理し, それを活用して数学的な考え方を自らの頭でしっかり実践し, 問題にあたりその解決を目指すことが大切である。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
	② 数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
	③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
	4	1	オリエンテーション						
前期	4・5	9	第4章 三角関数	第2節 加法定理 ・加法定理 ・加法定理の応用	① ・加法定理を利用して, 種々の三角関数の値を求めることができる。 ・正接の加法定理を利用して, 2直線のなす角を考慮することができる。 ・2倍角, 半角の公式などを利用して, 三角関数の値を求めたり, 等式を証明したり, 三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式を解くことができる。 ・三角関数の合成について理解している。 ② ・角を弧度法で表した場合にも, 加法定理が適用できる。 ・xの関数 $y=asinx+bcosx$ の式を適切に変形することで, 関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・合成後の変数のとる値の範囲に注意して, $asinx+bcosx=k$ の形の方程式を解くことができる。	小テスト	●	●	
						レポート・発表		●	●

前期					<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法定理の証明について、一般角に対しても成り立つことに興味をもち、考察しようとする。 ・同じ周期をもつ2つの関数 $y=\sin x$ と $y=\cos x$ を合成するとそのグラフは位相がずれた正弦曲線になることに興味・関心をもつ。 ・加法定理を利用して、座標平面上の点の回転を考察することに関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。 	ポートフォリオ			●
前期	5・6	5	第5章 指数関数と対数関数	第1節 指数関数 ・指数の拡張 ・指数関数	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。 ・累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 ・指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。また、累乗根を含む計算では、分数指数を利用して計算することができる。 ・指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・底と1の大小に注意して、指数関数を含む不等式を解くことができる。 ・x軸方向、y軸方向に平行移動した指数関数のグラフをかくことができる。 	小テスト	●		
			第5章 指数関数と対数関数		<ul style="list-style-type: none"> ・$a^x > 0$ に注意して、おき換えによって指数方程式・不等式を解くことができる。 ② ・指数法則が成り立つように、指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。 ・累乗根をグラフによって考察することができる。 ・指数関数 $y=a^x$ のグラフが定点(0, 1)を通ることを理解している。 ・指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 ③ ・累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。 ・負の数のn乗根に興味を示し、具体的に理解しようとする。 ・指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。 	レポート・発表		●	●
	6	1	前期中間試験				●	●	●

前期	6・7	9	第5章 指数関数と対数関数	第2節 対数関数 ・対数とその性質 ・対数関数 ・常用対数	① ・対数と指数とを相互に書き換えることができる。 ・対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ・底の変換公式を等式として利用できる。 ・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・底と1の大小に注意して、対数関数を含む不等式を解くことができる。 ・正の数を $a \times 10^n$ の形に表現して、対数の値を求めることができる。 ・常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 ② ・指数法則から、対数の性質を考察することができる。 ・対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y=x$ に関して対象であるという見方ができる。 ・対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ・ n 桁の数、小数首位第 n 位の数を、不等式で表現することができる。 ③ ・指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。 ・やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。 ・桁数や小数首位の問題を一般的に考察しようとする。	ポートフォリオ	●	●
前期	7・8	7	第6章 微分法と積分法	第1節 微分係数と導関数 ・微分係数 ・導関数とその計算 ・接線の方程式	① ・平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。 ・微分係数の図形的意味を理解している。 ・定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。 ・導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 ・接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。 ・曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式の求め方を理解している。 ② ・平均変化率における x の変化量 h は負でもよいことを理解している。 ・導関数を表す種々の記号を理解して、それらを適切に使うことができる。 ③ ・接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察しようとする。 ・関数 x^n の導関数について、二項定理を用いた証明に興味をもち、考察しようとする。 ・曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式を求めようとする。	小テスト・ ポートフォリオ	●	●
	8	1	前期期末試験			●	●	●
			第6章 微分法と積分法	第2節 関数の値の変化 ・関数の増減と極大・極小 ・関数の増減・グラフの応用	① ・導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 ・導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。			

後期	9・10	7		<ul style="list-style-type: none"> ・導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・導関数を利用して、方程式の実数解の個数問題、不等式の証明問題を解くことができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・接線の傾きで関数の増減が調べられることを理解している。 ・$f'(a)$が極値であるための条件を理解している。 ・最大・小値と極大・小値の違いを、意識して、考察できる。 ・方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・関数の増減や極値を調べ、3、4次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。 ・身近にある最大値・最小値の問題を、微分法を利用して解決しようとする。 ・方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。 	小テスト・ポートフォリオ	●	●	
後期	10・11・12	13	第6章 微分法と積分法	第3節 積分法 <ul style="list-style-type: none"> ・不定積分 ・定積分 ・定積分と面積 	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。 ・与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる。 ・定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 ・定積分の性質の等式を、両方向へと変形して利用できる。 ・面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいて考察できる。 ・3次関数のグラフとx軸とで囲まれた2つの部分の面積の和を求めることができる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・定積分の性質を利用して、計算がなるべく簡単になるように工夫して計算しようとする意欲がある。 ・面積$S(x)$が関数$f(x)$の原始関数の一つであることに興味・関心をもち、考察しようとする。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分を用いて求めようとする。 	小テスト・ポートフォリオ	●	●
	12	1	後期中間試験			●	●	●

2024年度 数学科 シラバス・年間指導計画						
科目名	数学B			教科書	新編 数学 B (数研出版)	
学年	3	単位数	2	必修	副教材	書き込み式シリーズ 教科書傍用 Study-Up ノート 新課程 標準 数学B (数研出版)

学習目標	数列、統計的な推測について理解し、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
学習の進め方	テキストプリントを配布する。授業は講義やグループワーク等を通じて進める。クロムブック等も活用する。演習等にも時間をかけるようにする。特に予習の必要はないが、しっかり復習をすること。復習・まとめのための課題を課すこともある。教科内容を単に暗記するのではなく、得た知識を整理し、それを活用して数学的な考え方を自らの頭でしっかり実践し、問題にあたりその解決を目指すことが大切である。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 数列または統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
	② 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列または統計的な推測における数学的な見方や考え方を身に付けている。
	③ 数列または統計的な推測に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。さらには、数学と社会生活との関わりについて積極的に認識しようとする。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
	4・5	10	第1章 数列	第1節 等差数列と等比数列 ・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和	① ・数列の定義、表記について理解している。 ・等差数列の公差、一般項などを理解している。 ・等比数列の公比、一般項などを理解している。 ・条件から等差・等比数列の一般項を決定できる。 ・等差・等比数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 ② ・数の並びからその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。 ・等差・等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係を考察できる。 ③ ・数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。 ・等差・等比中項の性質に興味をもち、問題解決に取り組もうとする。	レポート・ 単元テスト	●	●	●

前期	5・6	6	第1章 数列	第2節 いろいろな数列 ・和の記号 Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和	① ・記号 Σ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。 ・第 k 項を k の式で表して、初項から第 n 項までの和が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 ・数列の和 S_n と第 n 項 a_n の関係を理解し、数列の一般項が求められる。 ・和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。 ② ・数列の和を記号 Σ で表して、和の計算を簡単に行うことができる。 ・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 ・初項から第 n 項までの和に着目して、一般項を考察できる。 ・群数列を理解し、ある特定の群に属する数の和が求められる。	単元テスト・レポート	●	●	
			第1章 数列	③ ・ $f(k+1)-f(k)$ を用いる和の求め方に興味をもち、具体的な問題に活用しようとする。 ・群数列に興味をもち、考察しようとする。 ・自然数の3乗の和の公式を求めようとする意欲がある。					
	6	1	前期中間試験				●	●	●
前期	6・7	7	第1章 数列	第3節 漸化式と数学的帰納法 ・漸化式 ・数学的帰納法	① ・漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。 ・漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。 ・おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 ・初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 ・数学的帰納法を用いて等式、不等式を証明できる。 ② ・初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 ・自然数 n に対する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。 ③ ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 ・等差数列型の数列の階差数列を具体的に考察しようとする。 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	単元テスト・レポート	●	●	
前期	7・8	10	第2章 統計的な推測	第1節 確率分布 ・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値と分散 ・確率変数の和と積 ・二項分布 ・正規分布	① ・確率分布を計算式や分布表を用いて表すことができる。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・確率変数の期待値 $E(X)$ や分散 $V(X)$ などの計算式を理解して活用できる。 ・確率変数の和・積の期待値を、公式を利用して求めることができる。	ポートフォリオ	●	●	

					<p>確率変数の独立について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。 ・二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 ・標準正規分布に従う確率変数Zについての確率を求めることができる。 ・二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率変数で近似して求めることができる。 					
	8	1	前期期末試験					●	●	●
後期	9・10	10	<p>第2章 統計的な推測</p>		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 ・確率変数の期待値, 分散, 標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 ・確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係がとらえられている。 ・正規分布の特徴を理解し, 様々な視点からとらえることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることよき気づき, 確率分布について積極的に考察しようとする。 ・二項分布に興味・関心をもち, さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。 ・連続的な確率変数である正規分布に興味をもち, 正規分布について積極的に考察しようとする。 ・母集団や標本の特徴を理解しようとする。 ・母平均や母比率の推定に関心を示す。 	<p>単元テスト・ポートフォリオ</p>		●	●	
後期	10・11	8	<p>第2章 統計的な推測</p>	<p>第2節 統計的な推測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・推定 ・仮説検定 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母平均と母標準偏差がわかれば標本平均の値がどの範囲にどれくらいの確率で現れるか推測できることを理解している。 ・大数の法則を理解している。 ・推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ・推定や信頼区間の考え方がわかる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ・推定や信頼区間の考え方がわかる。 	<p>小テスト・ポートフォリオ</p>	●	●	●	
	12	1	後期中間試験					●	●	●
後期	12	4	<p>第3章 数学と社会生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用した問題解決 ・社会の中にある数学 ・変化をとらえる～移動平均～ ・変化をとらえる～回帰分析～ 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程や結果の妥当性について、批判的に考察できる。 	<p>レポート・発表</p>		●	●	

					<p>③</p> <ul style="list-style-type: none">・日常の事象や社会の事象において、数・量・形やそれらの関係に着目し、理想化したり単純化したりして、問題を数学的に表現しようとする。・解決過程を振り返り、そこで用いた方法を一般化して、他の事象に活用しようとする。				
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--

2024 年度 保健体育科 シラバス・年間指導計画

科目名	体育			教科書	『新高等保健体育』 大修館書店
学年	3	単位数	2	必修	副教材

学習目標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。</p>
学習の進め方	<p>○ 競技種目の勝敗を競うことだけではなく、技術習得のため、ルール of 把握、スキルアップに必要な知識や技能を身に付けることを目的として学習を進めます。</p> <p>○ 運動に対する苦手意識や、競技に対する得意不得意に関わらず、新たな仲間と協力や競い合いを通し、コミュニケーション能力の向上を図ってください。</p> <p>○ 与えられた運動をただ行うだけではなく、自分や仲間の課題がどこにあるのか、課題解決のためには何をどのようにすればいいのかなど、PDCA サイクルが非常に大事になります。併せてポートフォリオなどを駆使し、授業に臨んでください。</p> <p>○ 体育の「学力」とは、基礎的な知識・技能を基に意欲をもって「運動を実践する力」のことを指します。できる、できないではなく、やるかどうかですので、不得意、苦手、嫌いでも、ぜひ、積極的に授業に参加しましょう。</p>
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>① 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。</p>
	<p>② 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>
	<p>③ 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
前期	4	1	オリエンテーション							
			4	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動計画を立て取り組むこと。仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行う。のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行う。柔軟性を高める運動をする。	○知識 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ○思考・判断・表現 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	スキルテスト	●		
				行動観察記録会			●	●		
	ポートフォリオ					●				
	5	9	陸上体力測定	各種目を測定することにより、生徒自身が自己の体力を把握し、健康の保持・増進、体力向上への関心意欲を高めるために行う。 ○測定項目 ・立ち幅跳び・握力測定・長座体前屈・上体起こし、反復横跳び・50m走・ボール投げ・持久走	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ○思考・判断・表現 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	スキルテスト	●			
			行動観察記録会			●	●			
			ポートフォリオ				●			
	6	10	ソフトボール	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボールやバットの操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができるようにする。 ・キャッチボール・バッティング・バント・走塁	○知識○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	知識確認テスト スキルテスト	●			
			レポート 行動観察試合状況			●	●			
			ポートフォリオ				●			
	7	4	サッカー	安定したボール操作などの基本的技能や仲間との連携した動きを身につけ、役割に適した行動を瞬時に判断し選択するとともに、局面で変わる攻防を展開するため基礎的な技術の習得と洞察力を養う。作戦や状況に応じて仲間と連携し、空間を作り出す動きを身につける。 ・シュート・パス・ドリブル・フェイント・基本的なルール	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	知識確認テスト スキルテスト	●			
			行動観察記録会			●	●			
ポートフォリオ						●				
8	4									
								●		

後期	9	バレーボール	役割に応じたボールや用具操作と連動・連携した動きによって、攻防を展開するための基本的な技術の習得を図る。 個人やチームメイトの持っている能力に応じて作戦を立て、相手の空いているスペースに打ち、ゲームを展開できるようにする。 ・サーブ(変化を伴うサーブ)・レシーブ・トス・スパイクの基本動作・フットワーク・基本的なルール	○知識 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	知識確認テスト スキルテスト	●			
		6			行動観察 記録会 試合状況		●	●	
					ポートフォリオ			●	
	10	4	体育大会準備	スポーツの楽しさや、競技の特性を理解し、チームメイトと協力し、これまでの授業で習得した技術や戦術を駆使し、他学年と協力し競技に臨み、生涯にわたるスポーツに触れられることが出来るようにする。	○思考・判断・表現 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	知識確認テスト			
		6			行動観察 記録会		●	●	
					ポートフォリオ			●	
	11		バドミントン	ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら個人やペアの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。個人やペアの持っている能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行う。役割に応じたラケット操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。 ・サービス・ドロップ・クリア・スマッシュ	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	知識確認テスト スキルテスト	●		
		6			行動観察 記録会 試合状況		●	●	
					ポートフォリオ			●	
	12		体育理論	豊かなスポーツライフの設計	○知識 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。 ○思考・判断・表現 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 ○主体的に学習に取り組む態度 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	知識確認テスト	●		
		6			ポートフォリオ			●	

2024 年度 英語科・年間指導計画

科目名	実践英語			教科書	
学年	3	単位数	5	必修	副教材

学習目標	<p>日常的な話題や社会的な話題を題材とし、論理的に意見、理由を展開できる様々な方法を学ぶ。使用する語句や文、対話の展開などにおいて、主体的に複数の情報や資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、課題を解決する力を養う。また、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。気持ちなどを整理して話して伝え合うことができるようにする。さらに、多様な文化や価値観、世界情勢を理解し、共存するための資質・能力の育成を目標とする。</p>
学習の進め方	<p>まず、5時間のうち3時間は各 HR、2時間は全体で授業を行います。教科書はありませんが各レッスンで課題を与え、その目的に応じて ICT を活用しながら授業を展開していきます。日常的なことや社会的な情報等を取り入れ、学習内容を理解し、課題解決のための手法を身に付けます。そして、さまざまなテーマについて、自分の意見や主張などにおける複数の論点を説明したり、理由や根拠の妥当性を示す具体例を挙げて詳しく説明したりすることなど、複雑な内容を理解、分析し論理的に表現する力を養います。</p> <p>次に、プレゼンテーションやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文法、英語表現を用いて、意見や主張などを論理的に話したり書く力を育成します。そのためには、ネイティブ教員との積極的なコミュニケーションや、論理的思考力・表現力を高めるための ICT 活用が必要です。</p> <p>授業の内容は、「聞く」「読む」「話す」「書く」の 4 技能を使って、英語で情報を受け、発することを目的とします。これまで学習したことを応用させ、実践的にさまざまなコミュニケーション活動を通して、英語を発信することの面白さを味わい、積極的に英語を話そうとする態度を身につけていくことを目指します。</p>
観 の 観	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>① …知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文法、表現方法を理解し、適切に使うことができ、クラスで発表したり、会話のロールプレイをしたり、インタビューをする技能を身に付けているかを評価する。 ●文法、表現方法を理解し、様々な状況での文章を書く技能を身に付けているかを評価する。 ●各論題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて自分の考えを述べる技能を身に付けているかを評価する。
	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けているかを評価する。 ●伝えたい情報、内容などを論理性に注意して表現している状況を評価する。
	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているかを評価する。 ●与えられた課題に対して概要や要点などを目的に応じて捉え、追究しようとしているかを評価する。 ●自らの学習進歩や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしているかを評価する。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
期	4	15	1 オリエンテーション						
			Lesson 1 Guide Inquiry Presentation	与えられたテーマに関して概要や要点を掴み、自ら探究活動をすることができる これまで学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を書く/話すことができる	①適切な語句や表現を理解し、正確に用いることができる。 ②収集した情報、自分の意見、理由を相手に伝わるように工夫し、発表することができる。 ③自らの学習進歩や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている	授業中の活動と課題提出 単元テスト プレゼンテーション	● ○	○ ●	○ ●
	5	20	Lesson 2 Making a Movie How to Show? How to Explain?	学校紹介に関して作成内容を多角的に考察し、動画制作をすることができる これまで学習した語彙や文法事項を用いて動画内、発表で自分の意見を話すことができる	①学校紹介に関する適切な語句や表現を理解し、スクリプトを作ることができる。 ②発音やアクセントに注意し、撮影方法、動画内容、伝え方を工夫し、動画を作ることができる。 ③自らの学習進歩や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている	授業中の活動と課題提出 作成動画の提出	○ ●	● ●	○ ●
			6	0	前期中間考査は実施しません				
	6	15	Lesson 3 Let's become an Interviewer	異文化交流に焦点を当て、様々な人物に対しインタビューし、会話を広げていくことができる。 これまで学習した文法事項や表現方法を用いて、相手に質疑応答することができる	①適切な語句や文法表現を理解し、正確に用いることができる。 ②コミュニケーションに関心を持ち、相手に内容が伝わるよう工夫している ③自らの学習進歩や理解度を確認しながら、積極的に取り組もうとしている	授業中の活動と課題提出 単元テスト ALTと内容に関する質疑応答テスト	● ○	○ ●	○ ○
			7	10	Lesson 4 Let's try self-assessment	これまでの学習内容を振り返り、自らの反省点、改善点、今後の目標を英語でまとめ、伝えることができる	①適切な語句や表現を理解し、正確に用いることができる。 ②自己評価に関して多角的に分析し、序論、本論、結論を論理的に書くことができる。 ③自主的な考えや意見を共有することに興味を持ち、他の生徒と積極的に言語活動を行おうとする。	授業中の活動と課題提出 レポート提出	● ○
	8	10			Lesson 5 Retelling lesson Training of Reading and Listening	見聞きした英語の情報をまとめ、これまで学習した文法事項や表現方法を用いて要約したり、相手に内容を伝えることができる	①適切な語句や表現を用いて正確にリテリングすることができる。 ②課題の内容を理解し、リテリングした内容を相手に伝えることができる。 ③自主的な考えや意見を共有することに興味を持ち、他の生徒と積極的に言語活動を行おうとする。	授業中の活動と課題提出 単元テスト リテリングに関するライティングテスト	● ●
			9	1	前期末考査				●

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
期	9	15	Lesson 6 Making Paragraph	様々なパラグラフの手法を学び、論理的に自分の意見、理由を書く、話す力を養う。	①パラグラフ構成を理解し、文章を書くことができる。 ②自分の考えや伝えたい情報を論理性に注意して相手に伝えることができる。 ③自主的な考えや意見を共有することに興味を持ち、他の生徒と積極的に言語活動を行おうとする。	授業中の活動と課題提出	●	○	○
						単元テスト ライティングテスト	●	●	
						単元テスト ALTと内容に関する質疑応答テスト	○	●	●
		5	Lesson 7 Discussion	グループディスカッションのやり方を理解し、与えられた課題に対して多角的に取り入れた情報を英語で共有することができる。	①適切な語句や表現を理解し、正確に用いることができている。 ②自分の考えを整理して相手に伝えたり、相手の意見をまとめることができる。 ③自主的な考えや意見を共有することに興味を持ち、他の生徒と積極的に言語活動を行おうとする。	授業中の活動と課題提出	○	○	○
						レポート提出	●	●	●
	10	10	Lesson 8 Making Script for Debate	課題に対して賛否、どちらか一方を選択し、自分の意見、理由を英語で述べることができる。意見をまとめ、議論する内容を英語で作成することができる。	①適切な語句や表現を理解し、正確に用いることができている。 ②収集した情報、意見、理由を整理し、自分の考えをまとめることができる。 ③自主的な考えや意見を共有することに興味を持ち、他の生徒と積極的に言語活動を行おうとする。	授業中の活動と課題提出	●	○	○
						単元テスト スクリプト作成	●	●	○
	11	10	Lesson 9 Debate	まとめた内容を用いてALTとディベートを行い、説得させることができる	①適切な語句や表現を理解し、正確に用いることができている。 ②収集した情報、意見、理由を伝え、相手を説得することができる。 ③自主的な考えや意見を共有することに興味を持ち、他の生徒と積極的に言語活動を行おうとする。	授業中の活動と課題提出	●	○	○
						単元テスト ALTとのディベート	●	●	●
12	5	Lesson 10 Free Inquiry Final Presentation	自分でテーマを決め、これまで学習した語句、表現方法、内容を用いて探究活動を行い、発表することができる	①適切な語句や文法表現を理解し、正確に用いることができている。 ②収集した情報、自分の意見、理由を相手に伝えるように工夫し、発表することができる。	授業中の活動と課題提出	●		○	
					単元テスト プレゼンテーション	○	●	●	
		0	後期中間テストは行いません						

2024年度 国語科 シラバス・年間指導計画

科目名	古典探究			教科書	『精選 古典探究』大修館書店
学年	3	単位数	4	選 I	副教材 『精選 古典探究 学習ノート』 大修館書店

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
学習の進め方	プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意してください。本授業では、主に「読むこと」に力を入れます。古文・漢文を「読むこと」を通して、我が国の伝統と文化の基盤とは何かを学ぶとともに、自分と自分を取り巻く現代社会にとって、古典の意義や価値について探究することができる力を身につけられることを目指します。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
	② ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	③ ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言語を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
		2	古文編 第I部I説話 検非違使忠明のこと	・話の舞台や背景に注目し、登場人物の行動に注意して読み、話の展開を把握している。 ・『今昔物語集』との比較や歴史的背景の考察を通して、主題を考えている。	① 語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を増やしている。 ② 文章の種類をふまえ、古典特有の表現に注意して内容をとらえている。 ③ 説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。	小テスト	●		
						学習ノート		●	
						ワークシート		●	
						振り返りシート			●
		4	古文編 第I部I説話 大江山いくのの道	・和歌の文化的背景とそれに携わる人物関係をふまえ、「大江山…」の和歌を軸に、人物の言動や心情を読み取る。	① 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ② 関心をもった事柄に関連するさまざまな古典の作品や文章などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ③ 説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。	小テスト	●		
						学習ノート		●	
						ワークシート		●	
						振り返りシート			●
		4	古文編 第I部I説話 今昔物語集 安倍晴明	・古典文学と現代の小説や漫画を読み比べて、時代を超えて描かれる晴明の人物像、話のおもしろさを味わう。	① 我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国などの文化との関係について理解を深めている。 ② 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをとおして、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 ③ 『今昔物語集』と小説「陰陽師」、漫画「陰陽師」を読み比べ、メディアの表現の差を理解しようとしている。	小テスト	●		
						学習ノート		●	
						ワークシート		●	
振り返りシート							●		
4・5	8	漢文編 第I部I故事・逸話 知音 画竜点睛 糟糠之妻 塞翁馬	・漢文訓読に習熟する。 ・故事成語の意味の成り立ちを理解し、故事・逸話の叙述のおもしろさを味読する。	① 文語のきまりや訓読のきまりについて、また、時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響についても理解を深めている。 ② 文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 ③ 故事成語に興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		
					振り返りシート			●	
5	8	古文編 第I部2随筆(一) 徒然草 家居のつきづきしく 今日はそのことをな	・中世的無常観にもとづく、作者のものの見方、感じ方、考え方を理解し、現代人の考え方と比較する。	① 語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ② 文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		

		さんと思へど 花は盛りに		を広げたり深めたりしている。 ③作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。	振り返りシート			●	
5	4	【読み比べ】 玉勝間 兼好法師が詞のあげつらひ	・作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。	①古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 ②作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。また、同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりしている。 ③兼好とそれを批判する宣長の主張を整理し、自分の考えを深めようとしている。	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		
					振り返りシート			●	
6	1	前期中間考査				●	●	●	
6	8	漢文編 第I部2漢詩一近 体詩 自然 旅情 別離 憂愁	・近体詩の形式や表現について理解を深める。 ・近体詩の名作を繰り返し朗読し、漢文独特の口調に習熟する。 ・詩人たちの人生観や自然観についての認識を深める。	①古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ②文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。また、書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ③近体詩について興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	小テスト	●			
					学習ノート	●	●	●	
					ワークシート		●	●	
					振り返りシート			●	
6 ・ 7	4	古文編 第I部3物語(一) 伊勢物語	・歌物語の特徴、和歌と地の文の関係や表現技巧を理解し味読する。	①言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ②文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 ③作品の文学史的な位置づけを理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		
					振り返りシート			●	
		古文編 第I部3物語(一) 大和物語 をばすて	・登場人物の行動や心情から、当時の人の生き方や考え方を理解している。	①我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ②文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 ③関連伝説などを調べ、作品の特徴について考えようとしている。	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		
					振り返りシート			●	
7	8	漢文編 第I部3史伝 『史記』本紀 鴻門の会 項王の最期	・長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 ・さまざまな人物像をとらえて、人間の生き方についての考えを深める。	①言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ②書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ③『史記』について興味をもち、登場人物の行動や心情について考えようとしている。	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		
					振り返りシート			●	
	2	【読み比べ】 英雄の器	・「英雄の器」という視点から『史記』の項羽と劉邦の姿をとらえ直し、「英雄とはどのような存在なのか」について考える。	①我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ②古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ③史伝に興味をもち、歴史上のできごとや人物がどのように翻案されているのかを理解しようとしている。	ワークシート 作文	●	●		
					振り返りシート			●	
8	8	古文編 第I部物語(二) 源氏物語 光源氏の誕生 若紫との出会い 古文編 第II部物語(二) 葵の上と物の怪	・登場人物の人間関係を正確につかみ、それぞれの心理の動きをたどる。	①言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ②文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。 ③平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		
					振り返りシート			●	
9	1	前期期末考査				●	●	●	
9	8	漢文編 第II部6長恨歌と日本の文学	・物語の展開を的確に理解する。 ・叙述表現の巧みさを鑑賞し、登場人物の感情を的確に読み取る。	①言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ②文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 ③近体詩について興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		
					振り返りシート			●	
9	4	古文編 第II部I説話 今昔物語集 馬盗人	・説話の語り方の特徴を理解する。	①語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ③説話に興味をもち、語り手のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	小テスト	●			
					学習ノート		●		
					ワークシート		●		
					振り返りシート			●	

10	4	漢文編 第Ⅰ部7小説 定伯売鬼	・物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。	①言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ②文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 ③近体詩について興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	小テスト	●		
					学習ノート		●	
					ワークシート		●	
					振り返りシート			●
10	4	古文編 第Ⅱ部4日記 蜻蛉日記 町の小路の女	・日記における和歌を用いた表現の特色について理解する。 ・作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。	①言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ②必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ③日記に興味をもち、『蜻蛉日記』の特色について理解を深めようとしている。	小テスト	●		
					学習ノート		●	
					ワークシート		●	
					振り返りシート			●
10 ・ 11	8	漢文編 第Ⅱ部5思想 師弟 愛 常識を疑う	・人間のあり方や生き方、ものの見方や考え方などについて理解し、その現代的意義について考える。	①言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ②文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 ③近体詩について興味をもち、学びを実生活と結び付けて考えようとしている。	小テスト	●		
					学習ノート		●	
					ワークシート		●	
					振り返りシート			●
11	12	古典探究	・古典から問いを立て、調査することを通して、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する。	①文語のきまりや訓読のきまりについて、また、時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響についても理解を深めている。 ②先人のものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ③古典から主体的に問いを立て、実生活にとっての古典の意義や価値を見出そうとしている。	論文	●	●	●
11	1	後期中間考査				●	●	●
12	8	古典探究	・調査した内容をプレゼンテーションで再構成し、共有することを通して、問いに対する理解を深める。	①文語のきまりや訓読のきまりについて、また、時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響についても理解を深めている。 ②先人のものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ③古典から主体的に問いを立て、実生活にとっての古典の意義や価値を見出そうとしている。	発表	●	●	●

2024 年度 理科 シラバス・年間指導計画

科目名	化学			教科書	東京書籍 化学 Vol.1 理論編 化学 Vol.2 物質編
学年	3	単位数	4	選択 I	副教材 実教出版 アクセスノート 化学

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
学習の進め方	化学基礎で学んだことをより深く探究したり化学基礎から派生して新しい内容を勉強するので、理解できない点が出てきたら自分で調べたり質問する等、分らないままにしないよう気を付けてください。				
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。			
	②	自然界や産業界にある化学的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			
	③	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。さらに、探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに科学的態度を身につけている。			

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価			
							①	②	③	
前期	4	1	オリエンテーション(1h)	授業の進め方や評価方法などを説明する。						
			1編 物質の状態 1章 物質の状態 1節 物質の三態(2h) 2節 気体・液体間の状態変化(2h) 2章 気体の性質 1節 気体(2h) 2節 気体の状態変化(3h) 3章 溶液の性質 1節 溶解(4h) 2節 希薄溶液の性質(3h) 3節 コロイド(2h) 4章 固体の構造 1節 結晶(1h) 2節 金属結晶の構造(1h) 3節 イオン結晶の構造(1h) 4節 分子結晶と共有結合の結晶(1h)	・構成粒子の存在状態に注目し、状態変化と化学結合を関連付けて理解する。 ・気体の体積について圧力や温度との関係を状態方程式を用いて定量的に理解させ、分子量との関連についても理解する。 ・溶解度と溶解平衡を関連付けて溶解の仕組みを理解する。身近な現象を通して溶媒と溶質及びコロイド溶液の性質について理解する。 ・結晶を構成する粒子の結合を理解する。また、それぞれの結晶の規則性からどのような事が言えるか理解する。	①物質の状態について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ②物質の状態に関連し、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③物質の状態に関わり、主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	ワークシート レポート	●	●	●	
	5	33	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 1節 反応とエンタルピー変化(3h) 2節 ヘスの法則(2h) 3節 光とエネルギー(1h) 2章 電池と電気分解 1節 電池(2h) 2節 電気分解(3h)	・化学反応の前後で起きているエネルギーの出入りに関わる法則について理解する。 ・酸化還元反応とエネルギーを関連付けて理解する。反応に関与する物質と電荷の量的関係について理解する。	①化学反応とエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 ②化学反応とエネルギーに関連し、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③化学反応とエネルギーに関わり、主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	ポートフォリオ			●	
			1 前期中間考査				●	●		
	6	1	1	前期中間考査						
				1 前期中間考査					●	●

7	8	5	3編 化学反応の速さと平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応が起きるとき反応の速度に注目して、化学反応の仕組みについて理解する。また、条件を変えることで反応の速度がどのように変化するか理解する。 ・化学平衡に影響を与える要因に注目して化学平衡の仕組みを理解する。 ・化学平衡の仕組みとイオンを関連付けることで水溶液中での平衡を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①化学反応の速さと平衡について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②化学反応の速さと平衡に関連し、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③化学反応の速さと平衡に関わり、主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	ワークシート レポート	●	●	●	
			1章 化学反応の速さ 1節 反応の速さ(2h) 2節 反応速度を変える条件(2h) 3節 反応のしくみ(1h) 2章 化学平衡 1節 可逆反応と化学平衡(2h) 2節 平衡の移動(2h) 3章 水溶液中の化学平衡 1節 電離平衡(3h) 2節 塩の水への溶解(5h)			4編 無機物質 1章 周期表と元素 1節 周期表と元素(1h) 2章 非金属元素の単体と化合物 1節 水素とその化合物(1h) 2節 貴ガス(0.5h) 3節 酸素とその化合物(1h) 4節 ハロゲンとその化合物(3h) 5節 硫黄とその化合物(2h) 6節 窒素・リンとその化合物(1.5h) 7節 炭素・ケイ素とその化合物(1h) 3章 典型金属元素の単体と化合物 1節 アルカリ金属とその化合物(3h) 2節 アルカリ土類金属とその化合物(3h)	<ul style="list-style-type: none"> ・元素の種類及び性質と周期表の性質を関連付けて理解する。 ・非金属元素の単体及び、その化合物の性質を理解する。 ・典型金属元素の単体及び、その化合物の性質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①無機物質と典型金属元素について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②無機物質と典型金属元素に関連し、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③無機物質と典型金属元素に関わり、主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	ポートフォリオ	
		1	前期末考査					●	●	
9	10	34	3節 1、2族以外の典型金属元素とその化合物(3h)	<ul style="list-style-type: none"> ・遷移元素の単体及び、その化合物の性質を理解する。 ・無機物質の性質と人間生活を関連付けて理解する。セラミックスの種類や性質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①遷移元素について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②遷移元素に関連し、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③遷移元素に関わり、主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	ワークシート レポート	●	●	●	
			4章 遷移元素の単体と化合物 1節 遷移元素の特徴(1h) 2節 遷移元素とその化合物(8h) 5章 金属イオンの分離と確認 1節 金属イオンが検出できる反応(1h) 2節 金属イオンの系統分離と確認(2h)			5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 1節 有機化合物の特徴(2h) 2節 有機化合物の構造式の決定(1h) 2章 炭化水素 1節 飽和炭化水素(2h) 2節 不飽和炭化水素(3h) 3章 アルコールと関連化合物 1節 アルコールとエーテル(3h) 2節 アルデヒドとケトン(3h) 3節 カルボン酸(3h) 4節 エステル・油脂・セッケン(2h)	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の特徴と構造による分類方法を理解する。 ・脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連付けて理解する。また、元素分析から組成式や分子式、構造式を決定することができることを理解する。 ・酸素を含む脂肪族化合物の性質や反応を構造と関連付けて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①有機化合物について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②有機化合物に関連し、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③有機化合物に関わり、主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	ポートフォリオ	
								●	●	

11	34	4章 芳香族化合物 1節 芳香族炭化水素(2h) 2節 フェノール類と芳香族カルボン酸(3h) 3節 芳香族アミンとアゾ化合物(3h) 4節 芳香族化合物の分離(2h)	・芳香族化合物の性質や反応を構造と関連付けて理解する。		ワークシート レポート	●	●	●
		6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か 1節 高分子化合物の分類と特徴(2h) 2章 天然高分子化合物 1節 単糖類と二糖類(3h) 2節 多糖類(3h) 3節 アミノ酸(3h) 4節 タンパク質(3h) 3章 合成高分子化合物 1節 合成繊維(2h) 2節 合成樹脂(2h) 3節 ゴム(2h)	・有機化合物の性質と人間生活を関連付けて理解する。染料や糖類の性質を構造と関連付けて理解する。 ・天然高分子化合物の性質を構造と関連付けて理解する。タンパク質を構成するアミノ酸の種類や性質を構造と関連付けて理解する。 ・合成高分子化合物の分類や合成及び特徴について理解する。	①高分子化合物について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②高分子化合物に関連し、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③高分子化合物に関わり、主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	ポートフォリオ			●
12		7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 1節 ハロゲンの性質と酸化還元反応の応用(1h) 2節 物質の工業的製法(1h) 2章 未来を創る化学 1節 物質通して未来を創る(1h) 2節 物質を通して未来を考える(1h)	・高分子化合物の性質と人間生活を関連付けて理解する。	①化学が果たす役割について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②化学が果たす役割に関連し、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 ③化学が果たす役割に関わり、主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	小テスト	●	●	
	1	後期中間考査				●	●	

2024年度 国語科 シラバス・年間指導計画

科目名	実用国語演習			教科書	(なし) プリント
学年	3	単位数	2	選択 I	副教材 「基礎からはじめる国語の表現カトレーニングノート」大修館書店 (ワーク)

学習目標	社会で生活するときに必要な国語の知識や技能を身につけ、他者との多様な関わりの中で思考力や判断力を高め、積極的な言語活動への態度を養う。
学習の進め方	読む、書く、聞く、話す、の4つの技能を身につけるために、実践的で活動的な学習を進めます。なかでも、日常の言葉と自ら学習する意欲と態度が重要で、家庭学習の課題も出されます。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。
	② 実社会のなかで他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりして効果的に表現しようとしている
	③ 言葉が持つ価値への認識を深め、自分の言語活動をよりよくしようとしている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価								
							①	②	③						
前期	4	1	オリエンテーション												
		4	読み書きの基礎	仮名遣い・送り仮名など 常用漢字 など	①正しい仮名遣いなどができる ②指示通りにワークシートの活動ができている ③日ごろから正しい仮名遣いを意識した文章を書こうとしている	小テスト ワークシート ワーク	● ●	● ● ●	● ● ●						
	5	4	言葉遣い	和語・漢語・外来語 話し言葉と書き言葉 敬語 係り受け 文末の統一した表現 など	①学習内容が知識として定着している ②場面に応じた使い分けを意識している ③適切な言葉遣いを日ごろの生活に取り入れようとしている	小テスト 活動 ワーク	● ● ●	● ● ●	● ● ●						
						3	正しい文を書く	明確でわかりやすい文を書く 句読点を適切に打つ 文のつなぎ方を知る 正しく文脈を伝える など	①学習内容が知識として定着している ②指示通りにワークシートの活動ができている ③正しい文章を書こうとしている	小テスト ワークシート ワーク	● ●	● ● ●	● ● ●		
	6	2	前期中間考査・返却								●	●	●		
	7	10	伝えること 伝え合うこと さまざまな表現 手紙・電話・その他	説明するとは 絵や写真などを見て伝える 小論文 レポート 自己推薦 志望理由 など	①説明するときに必要な知識や技能が身につけている ②説明するものに応じて適切な表現方法を考え、相手を意識した文章を書いている ③よりよい文章表現を考えている	ワーク 活動 (小論文など) 相互評価	● ● ●	● ● ●	● ● ●						
						8	4	自己PRや面接 会話・議論・発表 メディア	自己PRをする 面接を受ける メディアを含めたアウトプット・表現の工夫	①表現するための知識や技能を身につけている ②自分に必要な力を見極め、力をもめるための工夫と努力の方法を考えられている ③表現を工夫するとき、自らの学習を調整しようとしている。	ワーク 活動 (面接など) 相互評価	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
	9	2	前期期末考査・返却									●	●	●	
	後期	10 11 12	15	実践演習 国語基礎力強化	自分の進路や得手不得手に応じて、さらに高めるべき内容を自分で選んで、学習をすすめる 共通課題として基礎力を強化する	①選んだ学習内容に応じた知識や技能が身につけている ②自分に必要な力を見極め、力をもめるための工夫と努力の方法を考えられている ③自分の将来を見越した学習を、自分で調整して行っている	共通課題 (プリント学習) ワーク 活動 (自己課題) ワークシート (学習の記録)	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●					
							12	2	学年末考査・返却				●	●	●

2024 年度 公民科 シラバス・年間指導計画

科目名	時事問題研究			教科書	なし
学年	3	単位数	2	選択Ⅱ	副教材 ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」基礎編 毎日新聞出版

学習目標	政治経済の学習を土台に、より多角的な視野に立って日本や世界のあり方に関する理解を深めさせ、将来にわたって解決すべき課題を発見し、可能な解決手段を模索するための能力を育てる。集団であることの意義と合意形成の困難に着目し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
学習の進め方	以下のような学習を行います。 1. 2分間スピーチ(毎回2人ずつ、自分の興味あるニュースについて紹介し、自分の考えを述べる) 2. 新聞記事(社説)の要約 3. プレゼンテーションの作成、発表(テキストと関連するテーマで実施) 4. 小論文の作成 それぞれの活動への取り組み、プレゼンテーションの内容、単元テストによる知識の定着、レポートの考察内容などで評価します。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
	② 現代の政治経済、国際関係に関わる課題を見いだし、望ましい解決について広い視野から多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
	③ 現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4 1 6	1	オリエンテーション						
		2	要約の練習	要約の作成	①授業で学んだ手法を用いて、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	添削指導	●		
		12	政治 1 私たちの民主主義 2 日本国憲法の行方 3 どうなる外交と防衛 4 地方自治のいま	政治分野について、「選挙」、「改憲」、「外交と防衛」、「地方自治」から1つテーマを選び、その調査内容をプレゼンテーションする。	①現代の政治に関する基本的な事柄や、本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 ②現代の政治に関わる課題を見いだし、望ましい解決について広い視野から多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ③現代の政治について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	プレゼンテーション	●	●	
						レポート		●	●
					単元テスト	●		●	

7 1 9	12	経済 5 足踏みする日本経済 6 混迷する世界経済 7 日本産業のいま 8 脱炭素社会への道のり	経済分野について、「日本経済」、「世界経済」、「日本の産業」、「脱炭素社会」から1つテーマを選び、その調査内容をプレゼンテーションする。プレゼンテーション後、与えられた問いについてレポートを作成する。	①現代の経済に関する基本的な事柄や、本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 ②現代の経済に関わる課題を見だし、望ましい解決について広い視野から多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ③現代の経済について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	プレゼンテーション	●	●		
					レポート		●	●	
					単元テスト	●		●	
10 1 11	12	社会・環境 13 子どもと教育のいま 14 共に生きる社会へ 15 司法と私たちの生活 16 情報社会に生きる 17 いのちの現場から 18 災害と日本 19 地球環境を守るために	社会・環境について、「子どもの権利」、「共生社会」、「裁判と人権」、「情報社会」、「生命倫理」、「防災」、「環境問題」から1つテーマを選び、その調査内容をプレゼンテーションする。プレゼンテーション後、与えられた問でレポートを作成する。	①日常の諸問題に関する基本的な事柄や、本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 ②日常の諸問題に関わる課題を見だし、望ましい解決について広い視野から多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ③日常の諸問題について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	プレゼンテーション	●	●		
					レポート		●	●	
					単元テスト	●		●	
後期	12	6	自由テーマ(時事問題探究)	自らの興味、関心にしたがって「問い」を設定し、小論文を作成する	①時事問題に関する基本的な事柄や、本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 ②時事問題に関わる課題を見だし、望ましい解決について広い視野から多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ③時事問題について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、これまでの学びを生かし、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	小論文	●	●	●

2024年度 理科 シラバス・年間指導計画

科目名	物理			教科書	物理（実教出版）
学年	3	単位数	4	副教材	アクセスノート 物理 新課程版（実教出版）

学習目標	日常生活や社会に使われている物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な基本的技能を身につける。物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、物理に対する興味・関心を高める。
学習の進め方	授業内容をまとめ、その後、問題を解きます。実験を行う際には、実験器具や試薬の使い方を確認しながら進めます。授業中に分からない点があれば、積極的に質問して理解を深めることが大切です。物理基礎で学んだ内容をより深く探究したり、物理基礎から派生して新しい内容を学ぶため、理解できない点が出てきたら自分で調べたり質問することで、理解を深める努力をしましょう。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① ・観察・実験などを通して、自然の物理的な事物・現象に対して、基本的な概念や、原理・法則を理解し、身につけている。 ・自然の物理的な事物・現象に関して観察・実験技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につけている。
	② ・自然の物理的な事物・現象に問題を見だし、実験・観察などを行うとともに、物理学的に探究する能力と態度が形成され、基本的な概念・法則を理解し、科学的な自然観をもつことができる。 ・実験の過程や結果及びそこから導き出した考えを的確に表現することができる。
	③ ・自然の物理的な事物・現象について関心、探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身につけている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション	授業の進め方について					
			第1章 さまざまな運動 1節 平面内の運動と剛体のつり合い 1 運動の表し方	・2次元平面上で、速度・加速度のベクトルを用いた表し方を理解し、速度の合成・分解、相対速度について理解する。 ・平面上での運動をベクトル表示、成分表示、双方から理解する。	①知識・技能 ・運動の基本法則を応用して様々な運動の解析に発展することを物理的に理解している。 ・力のつり合いとモーメントのつり合いから剛体の運動を予測できる。 ・平面の運動について、運動の法則を用いて、運動現象を統一的に理解している。 ・剛体の転倒と安定の条件を理解し、日常生活との関連を考察することができる。	小テスト	●	●	
			2 落体の運動	・水平投射運動、斜方投射運動について理解する。 ・力のモーメントを理解する。 ・平行な2力の合成から、重心について理解する。	②思考・判断・表現 ・運動の相対性の視点から運動現象を観察でき、実験を考案し、表現することができる。 ・複雑な運動が基本的な運動のどのような組み合わせによって生じているのかを理解し、実験を計画することができる。 ・剛体の運動のようすを観察し、運動の原因を、力のつり合いとモーメントのつり合いの条件から探究的に導くことができる。	レポート		●	●
	8	3 剛体にはたらく力	・剛体の転倒、安定を理解する。	③主体的に学習する態度 ・物理基礎で学習した内容を踏まえ、表そうとする意欲もち、学習に取り組んでいる。 ・剛体のつり合いの条件を理解し、日常生活との関連について意欲的に探究しようとしている。	ポートフォリオ			●	

前期	5	<p>2節 運動量</p> <p>1 運動量と力積</p> <p>2 運動量の保存</p> <p>3 衝突とエネルギー</p> <p>3節 円運動と単振動</p> <p>1 等速円運動</p> <p>2 慣性力</p> <p>3 単振動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積の関係を理解する。 ・保存量としての観点から運動量をとらえさせ、運動量保存の法則を理解する。 ・運動量の保存と力学的エネルギーの保存の違いを理解する。 ・慣性力の考え方を理解する。 ・等速円運動の速度、角速度、向心加速度、向心力や遠心力について理解する。 ・単振動と円運動の関係を通して、単振動の周期、変位、速度、加速度を理解する。 	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動量保存の法則から、物体の衝突や、運動量と運動エネルギーとの違いについて、概念を理解している。 ・観察する立場により生じる慣性力の存在について理解している。 ・円運動や単振動・単振り子などの周期的運動の実験を的確に行い、周期と他の物理量との関係を導くことができる。 <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積の違いや、運動量と運動エネルギーとの違いを見出し、的確に表現することができる。 ・見かけの力である慣性力について、見る立場によって異なることを思考・判断し、表現することができる。 ・単振動と等速円運動の関係性を見出し、的確に表現することができる。 <p>③主体的に学習する態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積の違いについて意欲的に調べ、日常生活との関連を探究しようとする意欲と態度が見られる。 ・運動量の保存と力学的エネルギーの保存との違いに関心を持ち、意欲的に探究する態度が見られる。 ・慣性力について、日常生活における具体例を調べ、意欲的に探究する態度が見られる。 ・衝突や合体の実験を通じて、運動量の変化と力積の関係を求めるための探究的な方法を身につけている。また、実験を的確に行うことにより反発係数を求めることができる。 ・等速円運動と単振動との関係に関心を持ち、意欲的に学習しようとする態度が見られる。 	小テスト	●	●	
		レポート	●	●				
		ポートフォリオ			●			
前期	13	<p>4節 万有引力</p> <p>1 ケプラーの法則</p> <p>2 万有引力</p> <p>3 万有引力による位置エネルギー</p> <p>5節 気体分子の運動</p> <p>1 気体の状態方程式</p> <p>2 気体分子の運動</p> <p>3 気体の内部エネルギー</p> <p>4 気体の状態変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケプラーの法則を理解する。 ・ケプラーの法則から万有引力の法則を導く過程を理解する。 ・万有引力を受ける物体の運動を理解する。 ・気体の状態が変化するとき成立する諸法則、及び、状態方程式について理解する。 ・原子・分子のミクロな立場から分子運動と気体の圧力や温度等の関係を理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の仕事について理解する。また、気体の状態変化に対して、熱力学第一法則が適用できることを理解する。 ・気体の定積比熱と定圧比熱について理解する。 ・熱力学第二法則を理解する。 	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万有引力により宇宙が力学的に解析されることなどについて理解している。 ・惑星の公転周期や半長軸の値から、的確なグラフをかくことができ、ケプラーの法則を導くことができる。また、各地の重力加速度の値を調べることで、資料調査・データの解釈ができるようになる。 ・気体に関して温度、圧力、体積の3つの変数の関係を理解し、実験を計画し実施できる。 ・理想気体の状態方程式、気体の状態変化について知識を身につけ、現象のミクロな理解ができ、分子の存在がマクロな現象の原因になっていることを統一的に理解している。 <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万有引力を受ける物体の運動を思考し、例などを用いて的確に表現することができる。また、重力と万有引力との違いを思考し、的確に表現することができる。 ・物質の状態変化に伴う量的変化を表現できる。 <p>③主体的に学習する態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケプラーの法則から万有引力の法則を導く過程に主体性を持ち意欲的に関わっている。 ・万有引力を受ける物体の運動について、地球や月、太陽との間だけでなく、宇宙全体に関係することや、人工衛星の打ち上げなどにも関係することに興味を持ち、探究する態度が見られる。 ・熱が関係する現象に関心を持ち、物質の状態変化や物質中の原子の振る舞いについて興味・関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。 	小テスト	●	●	
		レポート			●	●		
		ポートフォリオ				●		
	6	2	前期中間考査 解説		●	●	●	

前期	6	8	第2章 波 1節 波の伝わり方 1 波の表し方 2 波の伝わり方	・ホイヘンスの原理から波の回折、屈折、反射を理解する。	①知識・技能 ・波の干渉について、重ね合わせの原理により説明できることを理解している。 ・波動の特徴的現象としての干渉について、水面波の干渉を観察し、強め合ったり弱め合ったりする条件を確認することができる。 ・クインケ管による音の干渉や、ドップラー効果について、現象を観測し、聞こえ方が変化することの原因を理解することができる。 ・振動が伝わる事象に対し、その事象に相応しい量を見だし、波を表す量的関係およびグラフを用いた理解をしている。 ②思考・判断・表現 ・強め合う条件や弱め合う条件を表現することができる。 ・グラフでは横軸を空間に取った場合と時間にとった場合を組み合わせると波という事象の全体像を理解し、グラフで表現することができる。 ・ドップラー効果について、音源や観測者の動きと聞こえる音との関係を思考し、的確に表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・いろいろな波の現象の存在に関心を持ち、身近な現象を波動として捉えようという意欲を持って、探究しようとする態度が見られる。 ・音の現象が波動という同じ物理的な性質を持つことに興味を持ち、一体化して捉えようという態度を身につけている。 ・ドップラー効果が日常生活で観測できる身近な現象であることに興味・関心を持ち、意欲的に探究している。	小テスト	●	●	
			2節 音 1 音の性質 2 ドップラー効果	・音の伝わり方は、波の性質を示すことを理解する。 ・ドップラー効果を、波の伝わり方から考える。 ・観測者が運動する場合や音源、観測者がともに運動する場合のドップラー効果について理解する。		レポート			●
		7	3節 光 1 光の性質 2 レンズと球面鏡 3 回折と干渉	・光の速さが媒質によって変化するために、屈折が起こることを理解する。 ・光が横波であること、色は波長の違いによるものであることを理解する。 ・夕日と晴天の空の色が違う理由を理解する。 ・レンズと球面鏡の特徴から、屈折と反射の理解を深める。 ・光の回折や干渉など、光が波であることを示す典型的な現象について、ヤングの実験などを通して理解する。 ・くさび形空気層による干渉やニュートンリングについて理解する。	①知識・技能 ・屈折や反射のようすから実像や虚像が得られることを理解している。 ・ヤングの実験や、薄膜や空気層による干渉、回折格子による分光などの現象から、光が波の性質をもつことを理解している。 ・光源からの光を回折格子と複スリットを通して見ると、見え方が異なることを観察し、光の見え方と波長との関係を理解することができる。 ②思考・判断・表現 ・レンズと球面鏡の特徴を、光の進み方から思考し、的確に表現することができる。 ・ヤングの実験や、薄膜や空気層による干渉、回折格子による分光など、光が波の性質をもつことによる現象であることを理解し、表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・光の現象が波動という同じ物理的な性質を持つことに興味を持ち、一体化して捉えようという態度を身につけようとしている。 ・光の屈折・反射の例として、日常生活にも関連するレンズや球面鏡に興味・関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。 ・ヤングの実験やシャボン玉の縞模様などが、光の回折や干渉などにより起こっていることについて興味・関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。	小テスト	●	●	
8	13			レポート			●	●	
	9	2	前期期末試験解説				●	●	●
後期	9	13	3章 電気と磁気 1節 電荷と電場 1 静電気 2 電場 3 電位 4 コンデンサー	・摩擦電気を通して、帯電の仕組み、電気量の保存を理解する。 ・電場と電位差の関係を理解する。 ・平行板コンデンサーを具体例として取り扱い、静電気現象の理解を深める。	①知識・技能 ・電流計、電圧計、検流計、デジタルマルチメーターなどの測定器を正しく使える技能が身につけている。 ・抵抗の温度変化の実験を通して、抵抗の温度変化を観察し、実験を再現することができる。 ・キルヒホッフの法則について、正しく理解している。 ・磁場について理解している。	小テスト	●	●	

後期	9	13	3章 電気と磁気 2節 電流 1 電流と抵抗 2 直流回路	<ul style="list-style-type: none"> ・直流回路の性質を理解させ、さまざまな直流回路に共通する概念を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローレンツ力について、その向きや大きさを説明できる。 ・物体の中の電荷の振る舞いや、電流の変化、磁場の発生などについて観察でき、実験を再現できる。 ②思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・フレミングの左手の法則などを使って説明することができる。 ・電気の基本的な概念や原理・法則を用いて、抵抗率の温度係数や電流計・電圧計のしくみについて説明できる。 ・電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則を用いて系統的に考察し、様々な物理量の関係をグラフで表現できる。 ③主体的に学習する態度 <ul style="list-style-type: none"> ・電気回路における現象がどのように生じるかに関心を持ち、それらの法則性について、積極的に調べようとしている。 ・電気と磁気の現象が、どのように生じるかに関心を持ち、五感に訴えにくい事象について意欲的に探究しようとしている。 	レポート		●	●	
			ポートフォリオ			●				
		13	3節 磁場と電流 1 磁場 2 電流が磁場から受ける力 3 ローレンツ力	<ul style="list-style-type: none"> ・電流が磁場から受ける力の性質を理解させ、運動する荷電粒子が磁場から受けるローレンツ力がより基本的なものであることを理解する。 ・電流のつくる磁場の性質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能・電気と磁気に関する基本的な法則を系統的に理解し、交流や電磁波の基本的振る舞いについて知識を持ち、理解している。 ・マクロな電磁気法則を総合的に理解すると同時に、ローレンツ力などを通して電子の運動によるミクロな視点から電磁気現象を理解している。 ・交流回路におけるコイルやコンデンサーの動作の実験を通じ、回路内におけるコイルやコンデンサーのはたらきについて理解し、実験を計画できる。 ②思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・電磁誘導の法則や磁束などの概念を理解するとともに、磁場中を動く導体に生じる起電力を数式で表現することができる。 ③主体的に学習する態度 <ul style="list-style-type: none"> ・電場と磁場の捉え方が様々な電磁気現象に共通することに興味を持ち、総合的に捉えようとしている。 	小テスト	●	●		
			レポート		●	●				
		10	12	3章 電気と磁気 4節 電磁誘導と電磁波 1 電磁誘導の法則 2 自己誘導と相互誘導 3 交流 4 電磁波	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁誘導の法則を理解する。 ・ローレンツ力起源の起電力を理解する。 ・交流回路の基本、特に、交流回路におけるコイルやコンデンサーの役割を理解する。 ・電磁波の放射のしくみを定性的に理解させ、電波の性質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・電場がベクトルであることを理解し、電場の合成や電荷が受ける静電気力について理解している。 ・静電気を用いた電場の観察の実験を通じて、電場のようすを観察できる。 ・コンデンサーの接続について、合成抵抗を正しく理解できている。 ・充電したコンデンサーを用いて電気で動くものを実際に動かし、静電エネルギーが蓄えられていることを観察できる。 ②思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・電場や電位のような電気現象の基本概念表現することができる。 ・静電遮蔽について正しく表現することができる。 ③主体的に学習する態度 <ul style="list-style-type: none"> ・電気の現象がどのように生じるかに関心を持ち、それらの法則性や基本概念について意欲的に調べる態度を身につけている。 	小テスト	●	●	
							レポート		●	●
	11	10	4章 原子 1節 電子と光 1 電子 2 光の粒子性 3 電子の波動性	<ul style="list-style-type: none"> ・光電効果の実験とアインシュタインの光の量子論を理解する。 ・光やX線の二重性について理解する。 ・電子の波動性と物質波、波動と粒子の二重性について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・真空放電の実験を通じて、電子の発見について理解を深めることができる。 ・真空放電、陰極線、光電効果などから、電子の存在とその性質を理解している。 ②思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・光電効果やコンプトン効果を理解する際に、物質の二重性を新たに考えるに至った思考ができ、19世紀までに解明された物理現象とは異なる発想を取り入れて新現象を理解するに至った経緯が分かる。 	小テスト	●	●		
						レポート		●	●	

後期	11			<ul style="list-style-type: none"> 電子の波動性について、関係式や図を用いて表現できる。 ③主体的に学習する態度 目に見えない原子がどんな振る舞いをしているかについて関心を持ち、20世紀の物理学の研究対象となった原子と原子核について意欲的に学習に取り組んでいる。 	ポートフォリオ			●
	7	4章 原子 2節 原子と原子核 1 原子の構造 2 原子核 3 原子核反応 4 素粒子	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造とボーアの水素原子モデルを理解させ、水素原子のスペクトルについて理解する。 原子核の構成や変化を理解する。 原子核の構成の変化にともなう放射線の放出について理解する。 放射線の性質について理解する。 素粒子の概要について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 水素原子の構造を、波動や円運動の知識を用いて理解でき、量子条件と振動数条件という2つの仮説に基づく思考が理解している。 原子核の崩壊と核反応、放射線、素粒子の振る舞いに関して理解している。 放射線の観察や放射線量の測定などを通じて、放射線の特徴や原子核反応についての理解を深めることができる。 ②思考・判断・表現 原子模型について、関係式や図を用いて表現できる。 ③主体的に学習する態度 原子と原子核の理解が現代社会にどうつながり、現代の課題にどう反映するかについて興味を持ち、意欲的に調べようという態度を身につけている。 	小テスト	●	●	
				レポート			●	●
				ポートフォリオ				●
3		終章 物理学が築く未来 相対性理論と重力波天文学 シミュレーション科学とデータ科学 量子コンピュータ 新規材料と物理	<ul style="list-style-type: none"> 現代物理学の先端研究や技術革新などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 最先端の物理学の実験の意味と意義を理解している。 コンピュータシミュレーションの意義と利用を理解している。 現代物理学の発展と、技術革新などについて、基本的な知識を持ち、物理と社会の関係について理解している。 ②思考・判断・表現 最先端の技術革新などについて自ら調べ、それを元に相互討論を行い、議論の要点を図やグラフで表現できる。 ③主体的に学習する態度 現代の物理学がどのように社会を変え、今後どのように発展していくかに興味を持ち、意欲的に調べようという態度を身につけている。 	レポート		●	●
				ポートフォリオ				●
12	2	後期中間試験解説				●	●	●

2024年度 理科 シラバス・年間指導計画

科目名	生物			教科書	『生物』（東京書籍）
学年	3	単位数	4	選択Ⅱ	副教材 ニューアチーブ 生物

学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				
学習の進め方	プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意して下さい。授業は講義、グループ学習、実験、レポート作成、発表を通じて進めます。実験を行う際には、原理原則に基づき、結果を予測して行います。身近な物質やその変化を考える上で、重要な語句や関係式が出てきます。科学的に探究を行うために必要となる知識となるので、あいまいなままにせず、理解するように努めてください。				
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度				
	①	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、レポートを作成する。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。 ・生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けるとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。 ・授業内容に合わせた問いを出題する。与えられた問いに対して正確に答えることができる。 			
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験などを行い、レポートを作成する。結果を基に、事象を科学的に考察し、導き出した結論を正確に表現することができる。 ・生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・授業内容に合わせた問いを出題する。与えられた問いに対する答えを、正確に表現することができる。 			
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けてようとしている。 			

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	6	1 オリエンテーション	授業の進め方について					
			1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 1節 共通性と多様性をつなぐ進化	<ul style="list-style-type: none"> ・進化によって共通の祖先から多様な生物が誕生したことを見出す。 ・進化による生物への影響について考え、表現する。 ・異なる生物同士での共通点を見出し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・共通の祖先から多くの生物が誕生したことを理解している。 ・生物の共通性と多様性について理解している。 ・生命の起源について理解している。 	小テスト	●	●	
			2節 生命の誕生	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性は、進化により生じたことを理解する。 ・原始地球について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の進化と地球環境の変化を関連付けて理解している。 ・1章の学習内容について基本的な知識を身に付けている。 	レポート		●	●
			3節 生物の多様性と地球環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸の合成について理解する。 ・タンパク質の構造を理解し、原始地球で起こった反応についての理解を深める。 ・細胞の起源と生命の誕生について理解する。 ・RNA ワールドから DNA 	<ul style="list-style-type: none"> ②思考・判断・表現 ・異なる生物間での共通点を表現することができる。 ・酸素濃度の上昇した要因について表現することができる。 ・酸素濃度と二酸化炭素濃度に影響を与えた要因について表現することができる。 	ポートフォリオ			●

前期	8		<p>ワールドへの移行について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上で酸素がどのように生成されたかを理解する。 ・地球上の酸素濃度が上昇した要因について考える。 ・初期の生物の特徴について理解する。 ・シアノバクテリアの誕生と酸素濃度上昇についての関係を理解する。 ・大気中の酸素濃度の上昇はどのような生物のはたきによるものであるか理解を深める。 <p>大気中の酸素濃度と二酸化炭素濃度に影響を与えた要因について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞内共生説と根拠について理解する。 ・真核生物誕生についての理解を深める。 ・化学進化と細胞の進化をまとめ、表現する。 ・細胞内共生説の証拠について理解する。 ・生物の変遷についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学進化と細胞進化について表現することができる。 ・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。 <p>③主体的に学習する態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した用語同士のつながりを整理し、振り返ろうとしている。 					
		<p>2章 遺伝子の変化と進化のしくみ</p> <p>1節 遺伝的変異</p> <p>2節 多様な遺伝的変化をもたらす有性生殖</p> <p>3節 進化の定義と自然選択による進化</p> <p>4節 遺伝子レベルでみる進化</p> <p>5節 種分化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの塩基配列の変化と形質に変化が起こる仕組みについて理解する。 ・染色体が有性生殖によってどのように受け継がれるか理解させる。 ・進化が生じる条件について気づく。 ・自然選択による進化が起こる条件について理解する。 ・自然選択についてガラパゴスフィンチの例で理解を深める。 ・適応進化について理解する。 ・適応進化についてチョウやガの例で理解を深める。 ・集団中の特定の形質の割合、及びその形質にかかわる対立遺伝子の割合が、世代を経てどのように変化するかを考える。 ・遺伝子プールについて理解する。 ・遺伝子プールと遺伝子頻度についての理解を深める。 	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝的変異について理解している。 ・進化の定義と自然選択による進化について理解している。 ・遺伝的浮動と自然選択について理解している。 ・種分化が起こる要因について理解している。 ・この章における基本的な知識を身に付けている。 <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの塩基配列とアミノ酸の関係について考察し、表現することができる。 ・減数分裂と受精における遺伝子の組み合わせの変化について考察することができる。 ・遺伝的浮動や自然選択が遺伝子頻度を変化させる要因について考察することができる。 ・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。 <p>③主体的に学習する態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DNAの塩基配列とアミノ酸の関係について主体的に考察しようとしている。 ・遺伝子の組み合わせの変化について主体的に考察しようとしている。 ・遺伝子の変化と進化のしくみについて、つながりを確認し、振り返ろうとしている。 	小テスト	●	●		
					レポート		●	●	
5	8	<p>3章 進化の系統と進化</p> <p>1節 生物の系統</p> <p>2節 生物の系統分類</p> <p>3節 霊長類のなかのヒト</p> <p>4節 人類の出現と変遷</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が進化により現在の生活にいたっていることを見だし、生物の進化の道筋について考える。 ・種と種名、階層的分類について理解する。 ・ドメインについて理解する。 ・霊長類の特徴について理解する。 ・ヒトと類人猿の違いを理解する。 ・ゴリラとヒトの骨格の違い 	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物間の系統を推定する方法について理解している。 ・3ドメインについてりかいしている。 ・霊長類の特徴についてりかいしている。 ・人類の系統と進化について理解している。 <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料から、霊長類に共通する特徴やヒトのみに見られる特徴につい 	小テスト	●	●		
					レポート		●	●	

前期			<ul style="list-style-type: none"> を理解する。 ・骨格による動きの特徴に気づく。 ・ヒトとゴリラの違いをあげて、その違いからヒトの形質について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> て考察し、表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・人類の進化について、つながりを確認し、振り返ろうとしている。 	ポートフォリオ				●	
	1	単元テスト				●	●			
	6	12	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質 1節 細胞を構成する成分 2節 生体膜のはたらき 3節 細胞の構造 4節 タンパク質の構造 5節 酵素としてはたらくタンパク質 6節 生命現象とタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞を構成する成分について理解する。 ・生体膜のはたらきと構造について理解する。 ・界面活性剤の構造と作用について理解を深める。 ・生体膜の透過について理解する。 ・真核細胞の構造とはたらきについて理解する。 ・遺伝情報にかかわる構造について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・細胞を構成する成分について理解している。 ・真核細胞に含まれる構造と働きについて理解している。 ・生体膜のはたらきと構造について理解している。 ・タンパク質の構造や変性について理解している。 ・酵素が機能するしくみについて理解している。 ・輸送に関わるタンパク質について理解している。 ・この章における基本的な知識を身に付けている。 ②思考・判断・表現 ・酵素が機能するしくみや条件について考察し、表現することができる。 ・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。 3主体的に学習する態度 ・生体膜について、つながりを整理し、振り返ろうとしている。 	レポート		●	●	
						ポートフォリオ				●
						小テスト	●	●		
	8	8	2章 代謝とエネルギー 1節 代謝とエネルギー 2節 呼吸 3節 発酵 4節 光合成	<ul style="list-style-type: none"> ・生物がエネルギーを獲得し、利用するしくみを考える。 ・化学反応とエネルギーについて理解する。 ・酵素と活性化エネルギーの関係について整理する。 ・代謝とATPについて理解する。 ・呼吸の反応経路と反応の場について理解する。 ・解糖系、クエン酸回路、電子伝達系について理解する。 ・発酵と呼吸の違いについて理解する。 ・光合成反応の過程と反応の場について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・代謝とエネルギーの概要について理解している。 ・呼吸におけるATP合成の過程について理解している。 ・この章における基本的な知識を身に付けている。 ②思考・判断・表現 ・呼吸の反応経路と反応について表現することができる。 ・解糖系、クエン酸回路、電子伝達系について表現することができる。 ・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・生体内で起こる代謝について、つながりを意識して、整理して振り返ろうとしている。 	小テスト	●	●		
						レポート			●	●
						ポートフォリオ				●
			単元テスト				●	●		
	8	9	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報の発現と発生 1節 DNAの構造 2節 DNAの複製 3節 遺伝情報の流れ 4節 RNAと転写 5節 翻訳のしくみ 6節 遺伝情報の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの二重らせん構造について理解する。 ・DNAの方向性について理解する。 ・DNAの複製の過程について理解する。 ・遺伝情報に基づくタンパク質の合成には、どのような過程があるのかを考える。 ・RNAの構造と種類、おもなはたらきについて理解する。 ・転写のしくみについて理解する。 ・DNA多型について理解する。 ・DNAを傷付けるものについて理解する。 ・DNAの修復と突然変異について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・DNAの構造と複製について理解している。 ・タンパク質の合成について理解している。 ・この章における基本的な知識を身に付けている。 ②思考・判断・表現 ・タンパク質の合成過程について表現することができる。 ・資料を読み取り、考察し、表現することができる。 ・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。 ③主体的に学習する態度 ・資料を基に考察し、考えをまとめようとしている。 	小テスト	●	●		
					レポート			●	●	
					ポートフォリオ				●	
9	13	2章 発生と遺伝子発現 1節 原核生物の遺伝子発現の調節 2節 真核生物の遺伝子発現の調節 3節 選択的遺伝子発現と細胞分化 4節 動物の発生 5節 胚の細胞の発生運命と遺伝子発現	<ul style="list-style-type: none"> ・原核生物の基本的な転写調節について理解する。 ・真核生物の遺伝子発現の調節について理解する。 ・細胞外の環境に応じた遺伝子発現の調節について 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ・遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解していると同時に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する 	小テスト	●	●			

前期		6節 発生現象と遺伝子発現の調節 7節 動物の形と調節遺伝子の発現	理解する。 ・分化した細胞の遺伝子発現について理解する。 ・動物の配偶子形成について理解する。 ・受精について理解する。 ・アポトーシスについて理解する。 ・動物の形づくりとホックス遺伝子について理解する。	基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ・この章における基本的な知識を身に付けている ②思考・判断・表現 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 ③主体的に学習する態度	レポート		●	●	
					ポートフォリオ			●	
	9	8	3章 遺伝子を扱う技術 1節 遺伝子を増幅する技術 2節 塩基配列を解読する技術 3節 遺伝子組換え技術の利用 4節 遺伝子や細胞を扱う技術の課題	・DNAを増幅させる技術について理解する。 ・電気泳動のしくみについて理解する。 ・遺伝子組み換え技術について理解する。 ・エネルギーの変換にかかわる構造について理解する。 ・タンパク質の合成にかかわる構造について理解する。 ・細胞の形の維持や運動にかかわる構造について理解する。 ・細胞接着について理解する	①知識・技能 ・遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②思考・判断・表現 ・遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 ③主体的に学習する態度 ・遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている	小テスト	●	●	
			単元テスト		レポート		●	●	
後期	10	10	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 1節 刺激の受容から反応への流れ 2節 ニューロンの興奮 3節 興奮の伝導 4節 興奮の伝達 5節 刺激の受容と感覚 6節 中枢神経系での情報処理 7節 効果器	・情報の伝達と反応について理解する。 ・刺激の受容と電位の関わりについて理解する。 ・興奮の伝導について理解する。 ・シナプスと情報の伝達について理解する。 ・眼のはたらきについて理解する。 ・中枢神経における伝導について理解する。 ・筋肉の構造と運動の調節について理解する。	①知識・技能 ・刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②思考・判断・表現 ・刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 ③主体的に学習する態度 ・刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	小テスト	●	●	
					レポート		●	●	
					ポートフォリオ			●	
							●	●	
	10	6	2章 動物の行動 1節 動物の行動とは 2節 刺激の受容と行動 3節 学習のしくみ	・動物の行動のメカニズムについて理解する。 ・慣れと鋭敏化について理解する。 ・古典的条件付けについて理解する。	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。 ③主体的に学習する態度	小テスト	●	●	
						レポート		●	●
						ポートフォリオ			●
		12	3章 植物の環境応答 1節 被子植物の生殖と発生 2節 植物の一生の出来事と環境の影響 3節 植物ホルモンと光受容体 4節 環境要因による発芽の調整 5節 茎や根の成長と環境要因の影響 6節 気孔の開閉の調節と環境要因の影響 7節 花芽形成と環境要因の影響 8節 果実の形成と成熟のしくみ 9節 器官の老化と脱落のしくみ	・植物の発生の過程について理解する。 ・植物を取り巻く環境要因について考える。 ・発芽のメカニズムについて考える。 ・植物に加わる力とそれに対する応答について考える。 ・果実の成熟とホルモンの関わりについて考える。	①知識・技能 ・動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ②思考・判断・表現 ・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。 ③主体的に学習する態度	小テスト	●	●	
						レポート		●	●
						ポートフォリオ			●
	11	10	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集 1節 生態系から見た生物 2節 個体群と環境 3節 個体群の構造と成長 4節 個体間の相互作用 5節 種間の相互作用 6節 生物群集の成り立ちと多種の共存	・日本及び世界で個体数が減少している生物について理解する。 ・個体数の把握が種の多様性の維持にとって重要であることを理解する。 ・人間活動の影響により、個体数が減少している生物ばかりではなく、増え過ぎ	①知識・技能 ・生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	小テスト	●	●	
						レポート		●	●

後期	12		<p>ている生物が存在することを理解する。</p> <p>同じ種の個体間でみられる競争について理解する。</p> <p>・生命表について理解する。</p> <p>・群れをつくることによる利益と不利益を理解する。</p> <p>・被食者と捕食者の数の変化の周期性について考える。</p> <p>・間接効果について理解する。</p>	<p>②思考・判断・表現</p> <p>・動物の行動ついて、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。</p> <p>③主体的に学習する態度</p> <p>・動物の行動に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	ポートフォリオ			●	
		4	<p>2章 生態系の物質生産と物質循環</p> <p>1節 食物網と物質生産</p> <p>2節 生態系の物質収支と生態ピラミッド</p>	<p>・生態系全体のエネルギーの流れについて理解する。</p> <p>・生態系における物質の循環について考える。</p> <p>・森林の物質収支の特徴を理解する。</p> <p>・生産構造図について理解する。</p> <p>・植物体の形状と生産構造図との関連について理解を深める。</p>	<p>①知識・技能</p> <p>・生態系における、エネルギーの流れ、炭素の循環、窒素の循環について理解している。</p> <p>・生態系の物質収支と生態ピラミッドについて理解している。</p> <p>・この章における基本的な知識を身に付けている。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。</p> <p>③主体的に学習する態度</p> <p>・生態系の物質生産と物質循環について、つながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	<p>小テスト</p> <p>レポート</p> <p>ポートフォリオ</p>	●	●	●
		6	<p>3章 生態系と人間生活</p> <p>1節 生物多様性</p> <p>2節 人間社会の変化と生態系</p> <p>3節 生態系の復元</p> <p>4節 人間は自然とどう付き合ったらよいか</p>	<p>・種の多様性の定義について理解する。</p> <p>・人間活動の影響により、絶滅速度が上昇していることを見いだす。</p> <p>・遺伝的多様性の定義について理解する。</p> <p>・世界人口の推移と生物への影響について考える。</p> <p>・地球温暖化の原因と影響について理解を深める。</p> <p>・外来生物がもたらす影響について考える。</p> <p>・SDGs と、これまでに学習した内容を関連づけて考える。</p>	<p>①知識・技能</p> <p>・生物多様性について理解している。</p> <p>・人間生活がもたらす生態系への影響について理解している。</p> <p>・人間と自然のかかわり方について、SDGsなどの国際的な取り組みを理解している。</p> <p>・生態系の復元について、外来生物の影響や生物の再導入、生息場所の復元などの取り組みを理解している。</p> <p>・この章における基本的な知識を身に付けている。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>・農業が生態系にもたらす影響について考察し、表現することができる。</p> <p>・日本で発生した公害について調査結果を分析し、表現することができる。</p> <p>・この章における基本的な知識を用いて、表現することができる。</p> <p>③主体的に学習する態度</p> <p>・日本で発生した公害について、問題意識を持って調べようとしている。</p> <p>・自分たちが住む地域における生態系の復元の取り組みを主体的に調べようとしている。</p> <p>・人間生活の在り方について考え、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>小テスト</p> <p>レポート</p> <p>ポートフォリオ</p>	●	●	●
			単元テスト			●	●		

2024年度 保健体育科 シラバス・年間指導計画

科目名	発展体育			教科書	『新高等保健体育』 大修館書店
学年	3	単位数	2	選択Ⅱ	副教材

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。 ○ スポーツの推進及び発展において自他や社会の課題を発見し、課題解決に向けた思考を活かし適正な判断をするとともに、他者への伝達能力を養う。 ○ 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技種目の勝敗を競うことだけではなく、技術習得のため、ルールの把握、スキルアップに必要な知識や技能を身に付けることを目的として学習を進めます。 ○ 運動に対する苦手意識や、競技に対する得意不得意に関わらず、仲間との協力や競い合いを通し、コミュニケーション能力の向上を目的として学習を進めます。 ○ 与えられた運動を行うだけではなく、自分や仲間の課題がどこにあるのか、課題解決のためには何をどのようにすればいいのかなど、マンダラチャートやPDCA サイクル、OODA ループを駆使して学習を進めます。 ○ 毎時間のポートフォリオ作成に努め、学力、技術向上に努め、授業に臨んでください。 ○ 体育の「学力」とは、基礎的な知識・技能を基に意欲をもって「運動を実践する力」のことを指します。できるを突き詰める。できないことをできるようにする。など目標を明確にして学習を進めてください。 ○ 定期試験は実施しません。ただし、定期的に小テストやスキルテスト、振り返りシートを提出してもらいそれを評価に反映させます。
評価の観点	<p>観点の趣旨や到達目標</p> <p>① …知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度</p>
	<p>①</p> <p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解している。</p> <p>目的に応じた技能を身に付け、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。</p>
	<p>②</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している。</p> <p>個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>
	<p>③</p> <p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価				
							①	②	③		
前期	4	3	オリエンテーション	授業の進め方について					●		
		3	フラッグ フットボール①	競技の特性や、ルール、用具などその競技における知識を獲得し今後の活動につなげられるよう、調べ学習や資料の読み取りを行う。	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	知識確認テスト スキルテスト	●		●		
				今後の目標や計画をマンダラチャートで視覚的目標を立て、PDCAサイクルに準じて作成する。 また、日々の授業においてはOODA ループ形式でワンペーパーポートフォリオを作成し、マンダラチャートの達成率向上に向け取り組みを行う。	○思考・判断・表現 獲得した知識を基に、名称や表現法、使用法を理解し、適切なタイミングで適切な方法を選択することができる。					行動観察	●
	授業開始直後に知識獲得のためペーパーテストを行う。	○主体的に学習に取り組む態度 助け合いや教え合いにより、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	OODA シート	●	●						
	5	2				競技鑑賞会		○知識 各ポジションの役割を把握し、ポジションごとに求められる技術や行動などを理解する。	知識確認テスト	●	
					OODA シート		●		●		
	5	7		安定したボール操作などの基本的技能や仲間との連携した動きを身につけ、役割に適した行動を瞬時に判断し選択するとともに、局面で変わる攻防を展開するため基礎的な技術の習得と洞察力を養う。作戦や状況に応じて仲間と連携し、空間を利用する動きを身につける。	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	スキルテスト	●				
					○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。					行動観察 試合状況	●
	6	9			○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	行動観察 試合状況		●	●		
					○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする こと、互いに助け合い教え合おうとする ことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。					OODA シート	●
	7	5	フラッグ フットボール②	特性に応じて多くの「技」がある。これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わう。技がよりよくなるよう、学習に主体的に取り組む、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことなどに意欲をもち、課題解決の方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	スキルテスト	●				
					○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。					行動観察 記録会 試合状況	●
○思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。					OODA シート PDCA シート						
○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする こと、互いに助け合い教え合おうとする ことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。											
8	4										
	9	8									

後期	10	8	<p>ニュースポーツ (3種類)</p> <p>スポーツの楽しさや、競技の特性を理解し、チームメイトと協力し、これまでの授業で習得した技術や戦術を駆使し、他学年と協力し競技に臨み、生涯にわたりスポーツに触れられることが出来るようにする。</p>	<p>○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>○技能 役割に応じた道具の操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防を繰り広げることができる。</p> <p>○思考・判断・表現 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする こと、互いに助け合い教え合おうとする ことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	スキルテスト			
	11	7			行動観察 記録会		●	●
	12	4			OODA シート PDCA シート			●

2024年度 情報科 シラバス・年間指導計画

科目名	情報演習			教科書	
学年	3	単位数	2	選択Ⅱ	副教材

学習目標	情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度をバランスよく伸ばし、情報活用能力を身に付ける。高校生の段階において必要な IT 機器の操作方法や情報リテラシーを身に付ける。情報モラルを身に付け、コンピュータなどの情報手段を適切に活用し、情報の発信や受信において適切な対応力を身に付ける。
学習の進め方	IT教室で座学やパソコンを使う実習を行います。 実習は、マイクロソフト社のワード、エクセル、パワーポイントを主に活用し、ワードでは、文字のスピード入力や各種書式の文書作成技術や情報デザイン技術、エクセルでは表計算情報処理、パワーポイントでのプレゼンテーション（発表会）をします。情報技術を適切かつ効果的に活用できるように学びを深めます。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ① …知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① ・課題や目的に応じて情報処理手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に判断・表現・処理をする能力を身に付ける。
	② ・情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱いかい、自ら情報機器の活用を向上させる。
	③ ・情報社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割等を理解し、PC を活用し、更に高度な技術・操作方法を自ら積極的に習得マスターするという気持ちや取り組む姿勢を取るこ と。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	3	Ⅰ オリエンテーション	IT 教室でのマナー全体の説明					●
			アプリケーションソフト「ワード」の基礎・基本機能から中級レベルの機能を習得	正しい書式設定の理解とマスター。各種タイピングマスターをする練習。 10分間タイピングスピード入力反復練習。2セット ビジネス文書作成問題作成及び保存提出。	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●		●
						実習取組	●	●	●
									●
	5	6	同上	各種タイピング練習。 検定模擬問題10分間タイピングスピード入力反復練習。2セット ビジネス文書作成問題作成及び保存提出。	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●		●
						実習取組	●	●	
						授業姿勢			●
	6	8	同上	各種タイピング練習。(長文310文字スピード入力10分間2~3セット) ビジネス基礎から中級レベル文書作成の練習。(体裁練習・表挿入)	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●		●
						実習取組	●	●	
					授業姿勢			●	

7	6	同上	同上	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●	●	
					実習取組	●		●
					授業姿勢		●	●
8	3	アプリケーションソフト「ワード」は中級レベル・「エクセル」は基礎・基本機能の習得とデータ処理方法を学ぶ。	ワード(スピード入力10分間反復練習・文書作成問題印刷提出) エクセルの正しい書式設定の理解とマスター。 (画面構成の理解・入力データの確認・計算式・各種の関数式・処理条件の理解・出力形式の確認・印刷処理)	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロ・エクセルソフトで正確に文字入力・情報処理や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●		
					実習取組	●	●	●
					授業姿勢			●
9	8	前期期末考査 アプリケーションソフト「ワード」は中級レベル・「エクセル」は基礎・基本機能の習得とデータ処理方法を学ぶ。	ワード(スピード入力10分間反復練習・文書作成問題印刷提出) エクセル(表計算模擬問題3級編作成、保存印刷提出)	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロ・エクセルソフトで正確に文字入力や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、グループ内で協力してプレゼンテーション行う態度が見られる。	調べ学習	●		
					実習取組	●	●	●
					授業姿勢		●	●
10	8	アプリケーションソフト「ワード・エクセル」の検定用模擬試験問題中級レベルの処理問題を実習。	ワード(3・2級レベルスピード入力10分間反復練習・3級レベル文書作成問題印刷提出) エクセルの3級レベルの情報処理問題の処理及び処理問題の印刷提出	①各種のアプリケーションソフトを生かすために必要なルールを理解している。 ②ワープロ・エクセルソフトで正確に文字入力・情報処理や文書の体裁を整えることができる。 ③授業活動において積極的な姿勢や、協力して行う態度が見られる。	調べ学習	●	●	●
					実習取組	●	●	●
					授業姿勢		●	●
11	8	同上	同上	同上	調べ学習	●		●
					実習取組	●	●	●
					授業姿勢		●	●
12	5	後期中間考査 アプリケーションソフト「ワード・エクセル」活用し次年のカレンダー作成	同上 画像取入れ・表作成・図形・テキストボックス・ワードアート等々を活用し斬新で個性的なカレンダーを作成する。	同上	調べ学習	●		
					実習取組	●	●	●
					授業姿勢	●	●	●

2024 年度 英語科 シラバス・年間指導計画

科目名	Presentation			教科書	None
学年	3	単位数	5	選択	副教材

学習目標	The purpose of the course is to gain experience and confidence in speaking English in front of an audience. The course focuses on long essay-type of writing and long, three to six minutes presentations. Overall target is one-way as well as two-way output.	
学習の進め方	Provided topics of presentations will be developed by students. Learners will practice long stretches of writing followed by editing, memorization or reading and performance of their written work. The first part of the course will be focused on physical message. Students will create 3 three minutes presentations based on posture and eye contact, gestures and voice inflection. This will be followed by visual message section in which students will work with computer creating power-point, slides presentations. Final part will consist of the story message. Last part focuses on essay writing. This will be followed by final 6-minute-long persuasive presentation. Supplementary writing activities will be used as a source of more growth to progress to required standard set by the teacher.	
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ① …知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度	
	①	●Students have to display knowledge and skills to present various topics according to nonverbal and verbal communication and visual aid.
	②	●Students have to show appropriate thinking through written and spoken expression of content according to the various themes
	③	●Students have to display interest in one-way and two-way communication through presentation of their creative writing ability.

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	Orientation						
		8	Unit 1 Posture and eye contact	Learners perform an informative speech of their hometown or a city they recommend visiting	① Ability to use chapter' s target skill of posture and eye contact according to the textbook writing and acting tasks. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up.	Textbook tasks	●		○
						TEST Writing Question/Answer		●	
		Portfolio			●				
	5	16	Unit 2 Gestures	Learners prepare and perform a speech describing the layout of a convenience store, an amusement park, or a school campus.	① Ability to use chapter' s target skill of gesturing according to the textbook writing and acting tasks. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up.	Textbook tasks	●		○
						TEST Writing Question/Answer		●	
						Portfolio			●
	16	Unit 3 Voice Inflection	Learners prepare and perform a speech demonstrating how to prepare or cook a dish of their choice.	① Ability to use chapter' s target skill of voice inflection according to the textbook writing and acting tasks. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up.	Textbook tasks	●		○	
					TEST Writing Question/Answer		●		
					Portfolio			●	
6		No midterm test							
20	Unit 4 Effective visuals	Learners choose two countries and prepare comparison charts of the two countries.	① Ability to use chapter' s target skill of making visual slides according to the textbook visual guide tasks. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the	Textbook tasks	●		○		
				TEST Writing Question/Answer		●			

7				textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up.	Portfolio	○		●
	8	10	Unit 5 Explaining visuals	Learners perform their country comparison speeches after preparing explanations for their visuals.	① Ability to use chapter' s target skill to explain and display important points in the presentation according to the textbook Visual guide tasks. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up.	Textbook tasks	●	○
						TEST Writing Question/Answer		●
						Portfolio		●
9	1	前期期末考査				●	●	

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
後期	9	10	Unit 6 Story message Introduction	Learners prepare and present the introduction to a product comparison speech.	① Ability to use chapter' s target skill of writing captivating introductions according to the textbook writing tasks. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up.	Textbook tasks	●		○
						TEST Writing Question/Answer		●	
						Portfolio		●	
	11	10	Unit 7 The body	Learners prepare and present the body to their product comparison speech.	① Ability to use chapter' s target skill of showing evidence and facts to support the theme according to the textbook writing tasks. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up	Textbook tasks	●		○
						TEST Writing Question/Answer	○	●	
						Portfolio		●	

12	8	Unit 8 The Conclusion	Learners prepare and present the conclusion to their product comparison speech.	① Ability to use chapter' s target skill of concluding presentation according to the textbook writing tasks. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up	Textbook tasks	●		○
					TEST Writing Question/Answer	○	●	
					Portfolio			●
20		Final Presentation	Evaluation	① Ability to use cumulative skills of all learned aspects of presentation. ② Oral presentation of expressive writing and sharing of own opinions, thoughts according to the textbook theme and also by question-and-answer period. ③ Measure of progress through accumulative skill and expression build up	Textbook tasks	●		○
					TEST Writing Question/Answer		●	
					Portfolio			●
		No midterm test						

2024年度 地理歴史科 シラバス・年間指導計画

科目名	地理探究			教科書	『新詳地理探究』 帝国書院 『新詳高等地図帳』 帝国書院
学年	3	単位数	4	選Ⅲ	副教材 『新詳地理探究演習ノート』 帝国書院

学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。	
学習の進め方	<p>プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意してください。授業は講義やペアワーク、レポート作成を通じて進めます。単元の進め方は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予習テストの実施(努力すれば誰でも点数の取れる、簡単な確認テストです。) 2. ポートフォリオの「学習前」の記入(学習前の知識などを整理します。A7 レッドシートを使います。) 3. 授業(ワークシートを用いて行います。) 4. ポートフォリオの記入(単元の学習終了後の状況や学んだことを整理します。) 5. 単元テストの実施(単元の内容を振り返るテストです。) 6. 教員と学習状況の振り返り(単元テストやポートフォリオなどの結果を踏まえて行います。) <p>なお、定期テストは、前期中間、前期末の2回です。単元テスト、定期テスト共に、一問一答だけではなく、資料を用いる問題や、論述問題を課します。</p>	
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度	
	①	<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解することができる。(知識) ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。(技能)
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。(思考) ・地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が養われている。(判断、表現)
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通してかん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深めている。(主体的に学習に取り組む態度)

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
		7	第1部 第1章 自然環境 序節 地球環境と人間 1節 地形	地球表面には、地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな地形がみられる。それぞれの地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのだろうか。	①地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 ②地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現	予習テスト	●		●
						ワークシート		●	
ポートフォリオ			●						

				している。 ③地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。				
	1	第1部 第1章 1節地形 単元テスト				●	●	
5	7	第1部 第1章 自然環境 2節 気候	気温や降水量、風などの気候要素は地域によって異なるため、地球上の生態系はさまざまである。気候の違いは、どのような要因で生まれるのだろうか。また、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 ②気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●		●
					ワークシート		●	
					ポートフォリオ			●
	1	第1部 第1章 1節地形 単元テスト				●	●	
	1	第1部 第1章 自然環境 3節 日本の自然環境	南北に細長い日本列島には、山地や平野、亜寒帯から亜熱帯にわたる気候など、多様な自然環境がみられる。日本の自然環境にはどのような特徴があり、その特徴は自然災害とどのように関係しているのだろうか。	①日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて理解している。 ②日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●		●
ワークシート						●		
ポートフォリオ							●	
4	第1部 第1章 自然環境 4節 地球環境問題	地球上では、さまざまな環境問題が発生している。地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいのだろうか。	①さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて理解している。 ②さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート	●	●		
				ポートフォリオ			●	
	1	第1部 第1章 3、4節 日本の自然環境、地球環境問題 単元テスト				●	●	
6	1	前期中間考査				●	●	
	1	第1部 第1章 評価総括						●
	5	第1部 第2章 資源と産業 1節 農林水産業	農林水産業は、自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた。農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるのだろうか。	①自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 ②自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●		●
					ワークシート		●	
ポートフォリオ							●	

7	2	第1部 第2章 資源と産業 2節 食料問題	食料の分配は、世界全体をみると著しい偏りがある。飽食や飢餓がみられるのは、それぞれどのような地域だろうか。また、その原因は何だろうか。	①食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。 ②食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●	●	●	
					ワークシート			●	
						ポートフォリオ			●
	1	第1部 第2章 1、2節 農林水産業、食料問題 単元テスト					●	●	
	3	第1部 第2章 資源と産業 3節 エネルギー・鉱産資源	世界のエネルギー・鉱産資源の分布には、大きな偏りがある。エネルギー・鉱産資源は、どのようにして生活や産業に利用され、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているのだろうか。	①世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。 ②世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●		●	
					ワークシート			●	
						ポートフォリオ			●
	2	第1部 第2章 資源と産業 4節 資源・エネルギー問題	これまでの資源・エネルギー問題は、限りある資源をどのように利用するかという考え方であった。今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要なのだろうか。	①これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解している。 ②これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート	●	●		
					ポートフォリオ			●	
		1	第1部 第2部 3、4節 エネルギー・鉱産資源、資源・エネルギー問題 単元テスト					●	●
6	第1部 第2章 資源と産業 5節 工業	工業は、さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた。世界の工業はどのように発展し、現在は何のような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているのだろうか。	①さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在は何のような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。 ②さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在は何のような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●		●		
				ワークシート			●		
					ポートフォリオ			●	
2	第1部 第2章 資源と産業 6節 第3次産業	経済が発展すると、物やサービスへの需要が高まるため、第3次産業が主力の産業となる。第3次産業の現状はどのように変わっているのだろうか。	①経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのように変わっているかについて理解している。 ②経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのように変わっているかについて、多	予習テスト	●		●		
				ワークシート			●		

				面的・多角的に考察し、表現している。 ③第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ				●	
	1	第1部 第2章 5、6節 工業、第3次産業 単元テスト					●	●		
	1	第1部第2章 評価総括							●	
8	2	第1部 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信	交通と通信の発達によって、社会や経済は大きく変化した。なぜ、交通網や通信網の発達には、傾向や地域性、地域間格差が現れているのだろうか。	①社会や経済を大きく変化した交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて理解している。 ②社会や経済を大きく変化した交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●			●	
					ワークシート			●		
					ポートフォリオ				●	
	2	第1部 第3章 交通・通信と観光、貿易 2節 観光	交通と通信の発達などをきっかけとして、日本では、訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みがみられる。観光にはどのような特徴や利点があり、どのような課題があるのだろうか。	①日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。 ②日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●			●	
					ワークシート			●		
					ポートフォリオ				●	
	2	第1部 第3章 交通・通信と観光、貿易 3節 貿易と経済圏	私たちの日常生活は、貿易なしには成り立たない。世界の貿易は拡大が続いているが、地域性や地域間格差が現れてきている。それはなぜなのだろうか。	①拡大が続いている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。 ②拡大が続いている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●			●	
					ワークシート			●		
					ポートフォリオ				●	
		1	第1部 第3章 1～3節 交通・通信、観光、貿易と経済圏 単元テスト					●	●	
		1	前期末考査					●	●	
		1	第1部 第3章 評価総括							●
9	2	第1部 第4章 人口、村落・都市 1節 人口	世界全体の人口は現在も増加し続けているが、国や地域によってはさまざまな理由で減少に転じている場合もある。世界各地の人口の分布や年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるのだろうか。	①増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。 ②増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●			●	
					ワークシート			●		
					ポートフォリオ				●	
	2	第1部 第4章 人口、村落・都市 2節 人口問題	社会情勢や文化などのさまざまな要因によって、世界各国・各地域の人口は、規模や分布が異なっている。先進国と発展途上国では、出生率の高低や高齢化の進行に、どのような違いが表れているのだろうか。	①社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。 ②社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各	レポート	●	●			

				地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ			●	
	1	第1部 第4章 1,2節 人口、人口問題 単元テスト					●	●	
	3	第1部 第4章 人口、村落・都市 3節 村落と都市	人々はどうような場所に居住し、村落や都市を発達させてきたのだろうか。その立地や形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、また、国や地域によって異なる地域性についてとらえよう。	①村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。	予習テスト		●	●	
②村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現している。				ワークシート			●		
③村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。				ポートフォリオ				●	
	3	第1部 第4章 人口、村落・都市 4節 都市・居住問題	世界の都市が持続的に発展していくためには、どのような課題があるのだろうか。また、日本の都市にはどのような課題があり、それらを解決するために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	①世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。	レポート		●	●	
②世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。				ポートフォリオ				●	
	1	第1部 第4章 3,4節 村落と都市、都市・居住問題 単元テスト					●	●	
	1	第1部 第4章 評価総括						●	
後期	10	第1部 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住	伝統的な衣食住の生活文化は、その土地の自然環境や社会環境などの地域的特色を反映して形成されてきた。これらの生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているのだろうか。	①自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。	予習テスト		●	●	
				②自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート			●	
				③衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ				●
	3	第1部 第5章 生活文化、民族・宗教 2節 民族・宗教と民族問題	世界には、さまざまな民族が存在し、それぞれの言語を話し、多様な宗教を信仰している。民族や宗教の独自性はどのようにとらえることができ、各地にみられる民族問題の背景とどのように関わっているのだろうか。	①世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて理解している。	予習テスト		●	●	
②世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。				ワークシート			●		
③民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。				ポートフォリオ				●	

I	第1部 第5章 生活文化、民族・宗教 3節 国家の領域と領土問題	国家の領域は、山脈や河川、経線や緯線などさまざまな境界線で区分されている。領域が定められたり、その領域が変更されたり、国家が新たに誕生したりすることで、どのような問題が起きているのだろうか。	①国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起きていることについて理解している。 ②国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起きていることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●	●
				ワークシート		●
					ポートフォリオ	
I	第1部 第5章 1～3節 生活文化、民族・宗教 単元テスト				●	●
I	第1部 第4章 評価総括					●
I	第2部 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分	地域の特徴や他地域との結びつきなどを把握しやすくするためには、どのような区分方法があるのだろうか。	①いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 ②現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート		●
				ポートフォリオ		●
4	第2部 第2章 現代世界の諸地域 1節 中国 一項目ごとに整理して考察	第二次世界大戦後の中国は、経済発展が著しく、世界経済への影響も大きくなってきている。この節では、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理し、急速な経済発展に伴う地球的課題について考察しよう。	①工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 ②工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●	●
				ワークシート		●
					ポートフォリオ	
3	第2部 第2章 現代世界の諸地域 4節 インド 一経済成長に関連づけて考察	インドは、近年、急速に経済が成長している国の一つである。この節では、インドの産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて考察しよう。	①近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。 ②近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	予習テスト	●	●
				ワークシート		●
					ポートフォリオ	

11	3	第2部 第2章 現代世界の諸地域 6節 北アフリカとサハラ以南 アフリカ 一地域を比較して考察	北アフリカとサハラ以南 アフリカは、アフリカとしての まとまりをもっている一方 で、大きく異なる点多々あ る。この節では、二つの地域 を比較するとともに、一次産 品への依存がもたらす地球 的課題を考察しよう。	①アフリカとしてのまとまりをもっ ている一方で、大きく異なる点多々 ある北アフリカとサハラ以南アフリ カについて、二つの地域を比較し、 類似する一般性や地域の特殊性を 理解している。 ②アフリカとしてのまとまりをもっ ている一方で、大きく異なる点多々 ある北アフリカとサハラ以南アフリ カについて、二つの地域を比較し、 類似する一般性や地域の特殊性を、 多面的・多角的に考察し、表現 している。 ③北アフリカとサハラ以南アフリカ について、よりよい社会の実現を視 野にそこでみられる課題を主体的 に追究しようとしている。	予習テスト	●		●
					ワークシート		●	
					ポートフォリオ			●
	1	第2部 第1章 1～3節 中国、インド、北アフリカとサハラ以南のアフリカ 単元テスト				●	●	
10	10	第2部 第2章 現代世界の諸地域 事例探究	自身で調査地域を選び、 その地域の性質や特色を 考察し、表現しよう。	①設定した地域に見られる地域的 特徴や地域の結びつき、構造や変 容を理解している。 ②設定した地域に見られる地域的 特徴や地域の結びつき、構造や変 容を多面的・多角的に考察し、表現 している。 ③設定した地域について、よりよい 社会の実現を視野にそこでみられ る課題を主体的に追究しようとして いる。	プレゼン テーション	●	●	
					ポートフォリオ			●
1	第2部 第2章 評価総括						●	
12	10	第3部 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 将来の国土の在り方 2節 持続可能な日本の国土像の探究	現代の日本の社会が抱え る地理的な諸課題を解決 し、持続可能な社会を目指 すためには、どのような国土 の在り方が望ましいのだろ うか。	①現代の日本の社会が抱える地理 的な諸課題を解決し、持続可能な 社会を目指すためには、どのような 国土の在り方が望ましいかについ て理解している。 ②現代の日本の社会が抱える地理 的な諸課題を解決し、持続可能な 社会を目指すためには、どのような 国土の在り方が望ましいかについ て、多面的・多角的に探究し、表現 している。 ③持続可能な日本の国土像の探 究について、よりよい社会の実現を 視野にそこでみられる課題を主体 的に探究しようとしている。	探究	●	●	●
					発表		●	●
1	第3部 第1章 評価総括						●	

2024年度 地理歴史科 シラバス・年間指導計画

科目名	日本史探究			教科書	『高等学校日本史探究』清水書院
学年	3	単位数	4	選択Ⅲ	副教材 授業プリント

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
学習の進め方	プリントを配布するので、それを綴じるファイルを用意してください。授業は講義やグループワーク、単元テストを軸に進みます。事前に調べ学習を課すこともあります。 この科目の目標は、時間軸で現代的な諸課題を捉えた私たちがそれらとどう向き合っていくのか考察することであり、単なる知識の習得に留まるものではありません。皆さんが、授業で提示される様々な観点を獲得することを期待します。なお、年間計画に示した単元テストは必ず実施する予定ですが、単元の範囲によっては、その単元を複数に分割し、その都度、単元テストを実施する場合があります。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① ・我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	② ・我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
	③ ・我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	序 私たちはなぜ歴史を学ぶのか		③歴史への関心を高めるとともに、歴史を学ぶ視点や意義、歴史資料の特性についての関心と課題意識を高める。	ポートフォリオ			●
		3	第1編 原始・古代の日本と東アジア 第1章 黎明期の日本列島と歴史的環境	1 日本列島域の旧石器文化とはどのようなものか 2 縄文人はどのような暮らしをしていたのか 3 弥生人はどのような暮らしをしていたのか	③黎明期の日本列島と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	ポートフォリオ			●
		1	第2章 歴史資料と原始・古代の展望		②前章の学習を踏まえ、黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ③歴史資料と原始・古代の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ		●	●

4	10	第3章 古代の国家・社会の展開と画期 第1節 古代国家の形成と東アジア	4 倭国は東アジア世界とどうかかわったのか 5 前方後円墳は何をあらわしているのか 6 ヤマト政権はどのように倭国をまとめていたのか 7 飛鳥文化を生み出した背景とは 8 律令国家はどのように形成されたのか 9 律令体制の仕組みとは 10 奈良時代の政治はどのように推移したのか 11 天平文化を生み出した背景とは 〈女性の歴史〉1 出土資料にみる先史時代の女性 〈もっと知りたい日本史〉1 奈良時代の政治史と木簡	①国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、資料を適切に活用し、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 ②中国大陸・朝鮮半島との関係や、中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	単元テスト	●	●	
		第2節 古代国家の推移と社会の変化	12 律令政治の再建はどのようにおこなわれたのか 13 平安初期の文化はどのような国際環境で育まれたのか 14 摂関時代の政治はどのように推移したのか 15 東アジアの変動と国風文化にはどんな関係があるのか 〈もっと知りたい日本史〉2 仏像からみる古代史 〈もっと知りたい日本史〉3 国風文化を生み出した東アジアの変動	①貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の誕生などを基に、資料を適切に活用し、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 ②地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
5	4	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世への転換と歴史的環境	16 中世社会はどのようにして成立したのか 17 国家の武力はだれがになったのか 18 中世の国家はどのように形成されたのか 19 「武者の世」はどのようにしてはじまったのか	③古代から中世への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ			●
		第2章 歴史資料と中世の展望		②前章の学習を踏まえ、古代からの時代変化に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ③歴史資料と中世の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ		●	●
6	14	第3章 中世の国家・社会の展開と画期 第1節 武家政権の成立と展開	20 鎌倉幕府はどのようにして成立したのか 21 鎌倉幕府はどのように勢力を拡大したのか 〈もっと知りたい日本史〉4 硫黄の交易にみる東部ユーラシアと日本列島 〈地域の歴史〉1 東国御家人の移住―西遷御家人・北遷御家人 22 鎌倉仏教の特色は何か 23 鎌倉文化の特色は何か 24 モンゴル(元)はなぜ日本を攻め取れなかったのか 25 鎌倉幕府はなぜ滅びたのか	①武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸長、中世の社会や文化の特色を理解している。 ②公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	単元テスト	●	●	

6	第2節 武家政権の変容と中世の社会	26 建武政権はなぜ崩壊したのか 27 室町幕府の政治はどのように推移したのか 28 元寇後の東アジアの交流はどのようなものか 〈もっと知りたい日本史〉5 中世の随筆から読み解く社会と「唐物」 〈地域の歴史〉2 古代・中世の蝦夷地とアイヌ 29 一揆はどのようにして生まれ、中世の自治を支えたのか 30 中世の産業は民衆生活をどのように豊かにしたのか 31 中世の商業・流通はどのようにうごいたのか 32 戦国時代はなぜはじまったのか 33 戦国大名の領国支配の国際的背景とは 34 14～16世紀の文化の特色は何か 〈地域の歴史〉3 関東の戦国時代—後北条氏による関東統一への道 〈女性の歴史〉2 「戦う」女性たち	①政治や文化の多元化、多様化、国際関係の変化などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 ②社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化の関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③武家政権や社会の変容と文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	単元テスト	●	●			
				ポートフォリオ		●	●		
	4	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世への転換と歴史的環境	35 近世初頭の東アジア情勢はどのようなものか 36 信長と秀吉はどのようにして天下を統一したのか 37 秀吉の政治と対外政策はどのようなものか 38 信長・秀吉の時代の文化の特色は何か 〈地域の歴史〉4 九州地方と東アジア海域世界 〈もっと知りたい日本史〉6 秀吉の対外政策	③中世から近世への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ			●	
	1	第2章 歴史資料と近世の展望		②前章の学習を踏まえ、中世からの時代変化に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ③歴史資料と近世の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ		●	●	
7	第3章 近世の国家・社会の展開と画期 第1節 幕藩体制の成立と近世の社会	39 幕藩体制はどのようなものか 40 江戸時代の社会はどのようなものか 41 近世の国際関係はどのように形成されたのか 〈地域の歴史〉5 近世の蝦夷地とアイヌの人々 〈地域の歴史〉6 近世の琉球と奄美 42 江戸幕府の政治はどのように推移したのか 43 江戸時代の産業はどのように発展したのか 44 江戸時代の交通と都市はどのように発達したのか 45 儒学と学問はどのように展開したのか 46 江戸時代中期までの文化の特色は何か 〈もっと知りたい日本史〉7	①支配秩序や対外関係、技術・産業・文化の展開などを基に、幕藩体制の確立や近世の社会と文化の特色を理解している。 ②織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	単元テスト	●	●			

			近世社会を構成したさまざまな人々 〈女性の歴史〉3 江戸時代の遊女					
8	14	第2節 幕藩体制の動揺と社会の変化	47 吉宗はどのような政治をおこなったのか 48 村と町はどのように姿をかえていったのか 49 田沼の政治や寛政の改革は何をめざしたのか 50 外国船の接近は幕府にどのような影響をあたえたのか 51 幕府・諸藩はどのような改革をおこなったのか 52 近世後期の文化の特色は何か 53 近世後期の学問や思想はどのように発達したのか 〈もっと知りたい日本史〉8 江戸時代の朝幕関係 〈地域の歴史〉7 元禄大地震と大津波	①政治体制や社会の動揺、産業・学問の発展、庶民の生活や文化などを基に、幕藩体制の変容、庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 ②社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③近世の政治や社会の変容、近代化の基盤について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	単元テスト	●	●	
					ポートフォリオ		●	●
9	4	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代への転換と歴史的環境	54 日本はなぜ開港したのか 55 開港は国内にどのような影響をあたえたのか 56 尊王攘夷運動はどのように展開したのか 57 江戸幕府はどのように滅びたのか	③近代への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ			●
		第2章 歴史資料と近代の展望		②前章の学習を踏まえ、黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ③歴史資料と原始・古代の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究しようとしている。	ポートフォリオ		●	●
9	9	第3章 近現代の地域・日本と世界の画期と構造 第1節 近代国家の形成	58 新政府はどのような国家をめざしたのか 59 明治政府はどのような経済政策を進めたのか 60 明治政府の宗教・文教政策はどのようなものだったのか 61 明治初期の対外関係はどのように変化したのか 〈地域の歴史〉8 近代の蝦夷地・北海道 〈地域の歴史〉9 近代の琉球・沖縄 62 欧米文化は社会にどのような影響をあたえたのか 63 自由民権運動はなぜ始まったのか 64 自由民権運動はなぜ衰退したのか 65 立憲体制はどのようにして確立したのか 66 条約改正はどのようにして達成されたのか	①明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、文明開化の風潮、条約改正などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 ②アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変容、欧米の思想・文化の影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と諸外国との関係の確立について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	単元テスト	●	●	
		4		67 日清戦争前後の国内政治はどのようなものか 68 日清戦争はなぜ起きたのか 69 日清戦争後の東アジア情勢はどのように推移した	①日清・日露戦争などを基に、立憲体制の推移や展開、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 ②日清・日露戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近	単元テスト	●	●

後期	10	4	<p>のか</p> <p>70 日露戦争はどのような戦争だったのか</p> <p>71 日露戦争後の東アジア情勢はどのように変化したのか</p> <p>72 近代産業はどのように発展したのか</p> <p>73 社会問題に政府はどのように対応したのか</p> <p>74 明治の思想・教育・学問の特色は何か</p> <p>75 明治文化の特色は何か</p> <p>〈女性の歴史〉4 製糸業と工女</p> <p>〈もっと知りたい日本史〉9 近代漫画の先駆者北沢楽天</p>	<p>代の政治の展開と国際的地位の確立について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>①産業革命の展開、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代文化の特色を理解している。</p> <p>②産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展と近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p>	単元テスト	●	●	
		6	<p>第2節 政党政治と大衆社会</p> <p>76 政党政治はどのように発展したのか—明治から大正へ</p> <p>77 第一次世界大戦に日本はどのようにかかわったのか</p> <p>78 第一次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか</p> <p>79 第一次世界大戦後の日本外交はどのようなものか</p> <p>80 大正デモクラシーとはどのようなものか</p> <p>81 政党内閣制はどのようにして確立したのか</p> <p>82 大正前後の文化の特徴は何か</p> <p>〈女性の歴史〉5 新しい女</p> <p>〈地域の歴史〉10 関東大震災</p>	<p>①第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、政治参加の拡大の意義、アジアや欧米諸国との関係の変容、大衆社会の形成を理解している。</p> <p>②地域社会における労働や生活の変化、第一次世界大戦が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、国民の政治参加の拡大と日本の工業化の進展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p>	単元テスト	●	●	
	11	9	<p>第3節 第二次世界大戦と日本の社会</p> <p>83 昭和初期の経済不況はどのようなものだったのか</p> <p>84 昭和初期の外交はどのようなものだったのか</p> <p>85 ファシズムはどのようにして台頭したのか</p> <p>86 日本はなぜ国際連盟を脱退したのか</p> <p>87 軍部ははどのようにして台頭したのか</p> <p>88 日中戦争の長期化のなかでつくられた戦時体制とは</p> <p>89 第二次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか</p> <p>90 アジア太平洋戦争はどのように推移したのか</p> <p>91 戦時下の国民生活はどのようなものだったのか</p> <p>92 アジア太平洋戦争はどのようにして終結したのか</p> <p>〈地域の歴史〉11 都市への空襲と模擬原爆投下訓練</p> <p>〈もっと知りたい日本史〉10 戦時下の植民地と満州</p>	<p>①恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。</p> <p>②国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p>	単元テスト	●	●	
			<p>第4節 現代の日本と世界</p> <p>93 占領政策はどのように進められたのか</p> <p>94 占領下の経済と政治はどのように推移したのか</p> <p>95 戦後の経済政策はどのように転換したのか</p> <p>96 戦後の人々の暮らしはどのようなものか</p>	<p>①占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興などを基に、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係を理解している。</p> <p>②第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響などに着目して、主題を設定し、戦前</p>				

12	12	<p>〈もっと知りたい日本史〉 11 アジアの解放 〈地域の歴史〉12 復員と引揚げ—舞鶴港 97 冷戦は占領政策にどのような影響をあたえたのか 98 独立後の政治はどのように推移したのか 99 55 年体制はなぜ成立したのか 100 独立後の日米関係はどのように変化したのか 〈地域の歴史〉13 沖縄と基地 〈女性の歴史〉6 女性のファッション</p>	<p>と戦後の社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p>	単元テスト	●	●		
		<p>101 高度経済成長はなぜおきたのか 102 高度経済成長は社会にどのような影響をあたえたのか 103 55 年体制下の政治はどのように推移したのか 104 1990 年代の政治や経済におきた変化とは 105 日本はこれからどのような道を歩むのか 〈もっと知りたい日本史〉 12 『昭和天皇実録』にみる昭和天皇の幼少期 〈もっと知りたい日本史〉 13 戦後の文化</p>	<p>①アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、戦後の経済や対外関係、国民生活の変容、現代の政治や社会の枠組みを理解している。 ②冷戦の推移と終結、グローバル化の進展の影響、国民生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦後政治の展開、日本経済の発展、戦後の国際社会における日本の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③現代の政治や社会の枠組みにつながる戦後の政治や経済、外交、社会について、見通しを持って学習に取り組む、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	単元テスト	●	●		
12	1	第4章 近現代の歴史の画期		③第3章までの学習を振り返るとともに、科目のまとめである次の学習へのつながりを見出している。	ポートフォリオ			●
		第5章 現代の日本の課題の探究	<p>1. 江戸時代の火山災害 2. 地域からみた日本の戦後史 3. 年中行事から探る伝統文化</p>	<p>②冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	ポートフォリオ		●	●

2024年度 地理歴史科 シラバス・年間指導計画

科目名	世界史探究			教科書	『世界史探究』 第一学習社
学年	3	単位数	4	選択Ⅲ	副教材

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習の進め方	教科書とプリントを使って学習します。様々な課題を考える中で、自分の考察と他の人の考察の違いを意識しながら、論理性を磨きます。レポート、ディベート、プレゼンテーションなども取り入れて、自分の言葉で表現する授業です。また、単元テストも実施します。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
	③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	2	オリエンテーション	最終課題である、探究活動のテーマ(「紛争解決や共生」、「経済発展と経済格差の是正」、「科学技術の発展や文化の変容」)のイメージを理解している。②探究テーマの選定について、教科書の概要から何を学ぶのか、方針を決め、表現している。③探究のテーマを通して、主体的に習得したい知識、解決したい方向性の仮説を作ることができる。	①探究活動のテーマ(「紛争解決や共生」、「経済発展と経済格差の是正」、「科学技術の発展や文化の変容」)のイメージを理解している。②探究テーマの選定について、教科書の概要から何を学ぶのか、方針を決め、表現している。③探究のテーマを通して、主体的に習得したい知識、解決したい方向性の仮説を作ることができる。	年間学習計画		●	●
						グループ活動			●
		3	第1編 世界史へのまなざし 地球環境から見る人類の歴史 日常生活から見る世界の歴史	地球の誕生から現生人類の登場、地球規模での拡散の様子から、歴史が占める位置や、生活や文化の多様性について考察し表現することにより、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。諸事象と歴史との関連性について考察し表現することにより、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。	①人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。身の回りの諸事象を基に、世界の歴史とつながっていることを理解する。 ②諸事象を捉えるための時間や、空間的な広がりに着目し、主題を設定し、人類の歴史の位置と人類の特性、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し表現する。 ③諸資料を活用し、課題の追究や解決の活動に主体的に取り組む。	調査プレゼン		●	●
						発表レポート	●	●	●
4	第2編 第1章 諸地域の歴史的特質への問い 第2章 古代文明の歴史的特質	諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、古代文明の歴史的特質を理解できるようにする。	①生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想に関する資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。西アジア文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 ②文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互	学習計画		●	●		
				調査プレゼン		●	●		

				の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	発表レポート	●	●	●
					ポートフォリオ	●	●	●
	5	1	単元テスト			●	●	●
		7	第3章 諸地域の歴史的特質	諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、東アジアと中央ユーラシア、南アジアと東南アジア、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解できる	①南アジアと東南アジアの歴史的特質、ヨーロッパと西アジアにおけるキリスト教とイスラームを基盤とした国家の歴史的特質を理解する。 ②西アジアと地中海周辺の特色や、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、唐の統治体制と社会の特色、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを考察し、表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	調査プレゼン		●
					発表レポート	●	●	●
					ポートフォリオ	●	●	●
		1	単元テスト			●	●	●
		1	第3編 第1章 諸地域の交流・再編への問い	資料から情報を読み取りたりまとめたりする技能を身に付けるとともに、諸地域の交流・再編を読み解く基本的な観点について考察し問いを表現し、この大項目全体の学習に対する課題意識や見通しをもつ	①交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料から情報を読み取りたりまとめたりする技能を身に付ける。 ②諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	学習計画		●
					調査プレゼン		●	●
					発表レポート		●	●
	6	9	第2章 結びつくユーラシアと諸地域	諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がり、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解できる	①西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、諸地域の交易の発展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。 ②諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる背景や原因、結果や影響、事象相互の関連に着目し、主題を設定し資料を比較したり関連付けたりして読み解き、イスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会の特色、中国社会やモンゴル帝国、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを考察し、表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	学習計画		●
					調査プレゼン		●	●
					発表レポート	●	●	●
					ポートフォリオ	●	●	●
		1	前期中間試験			●	●	●
		6	第3章 アジア諸地域とヨーロッパの再編	諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア諸地域の特質、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解できるようにする。	①アジア諸地域の特質、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。 ②アジア諸地域、ヨーロッパ諸地域の動向の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア諸地域の経済と社会、日本の対外関係の特徴、宗教改革の意義、主権国家の特徴と経済活動との関連、などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究する活動に主体的に取り組む。	学習計画		●
					調査プレゼン		●	●
					発表レポート	●	●	●
					ポートフォリオ	●	●	●

	1	単元テスト				●	●	●
7	1	第4編 諸地域の結合・変容 第1章 諸地域の結合・変容への問い	諸資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けるとともに、諸地域の結合・変容を読み解く基本的な観点について考察し問いを表現し、この大項目全体の学習に対する課題意識や見通しをもつ	①人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ②諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりに着目し、考察し表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	学習計画		●	●
					調査プレゼン		●	●
					発表レポート	●	●	●
					学習計画		●	●
					調査プレゼン		●	●
11	第2章 世界市場の形成と諸地域の結合	諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国民国家と近代民主主義社会の形成、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解できる	①産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開、国際的な分業体制と労働力の移動、自由貿易体制、アジア諸国の植民地化などを基に、近代民主主義社会の形成、世界市場の形成などを構造的に理解する。 ②諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	学習計画		●	●	
				調査プレゼン		●	●	
				発表レポート	●	●	●	
				評価レポート	●	●	●	
				ポートフォリオ	●	●	●	
	1	単元テスト				●	●	●
8	10	第3章 帝国主義とナショナリズムの高揚	諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界分割の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解できる	①帝国主義の抗争、アジア諸国の変革を基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦の展開を構造的に理解する。 ②諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	学習計画		●	●
					調査プレゼン		●	●
					発表レポート	●	●	●
					ポートフォリオ	●	●	●
					学習計画		●	●
	1	前期期末試験				●	●	●
9	8	第4章 第二次世界大戦と諸地域の変容	諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解できる	①世界恐慌とファシズムの動向、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりを構造的に理解する。 ②諸事象の背景や原因、結果や影響、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策、ファシズムの特徴、戦後構想と大戦後の国際秩序との関連などを多面的・多角的に考察し表現する。 ③諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	学習計画		●	●
					調査プレゼン		●	●
					発表レポート	●	●	●
					評価レポート	●	●	●
					ポートフォリオ	●	●	●
	1	単元テスト				●	●	●
	1	第5編 地球世界の課題 第1章 地球世界の課題への問い	諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、探究する活動を通して、歴史的に形成された地球世界	①核兵器と原子力、科学技術の発達、経済や人の移動のグローバル化、紛争などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。	学習計画		●	●

後期	10	5	第2章 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	<p>の課題を理解する</p> <p>②地球世界の課題に関わる諸事象の背景や原因,結果や影響,事象相互の関連,諸地域相互のつながりなどに着目し,地球世界の課題を読み解く観点について考察し,問いを表現する。</p> <p>③諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	調査プレゼン		●	●	
					発表レポート	●	●	●	
					学習計画		●	●	
					調査プレゼン		●	●	
					発表レポート	●	●	●	
	1	1	1	単元テスト			●	●	●
	11	6	第3章 国際秩序の変容と経済のグローバル化	<p>主題を設定し,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き,先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴,諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴,経済格差と政治や社会の変化との関連性などを考察したり表現したりして,紛争解決の取組と課題を理解できる</p> <p>①アジア・アフリカ諸国の独立と新興独立国の結束,先進国の経済成長と南北問題,集団安全保障と冷戦の展開,平和共存と多極化の進展などを基に,1950~60年代にかけての冷戦の展開と第二次世界大戦後に独立した国々に残された課題などを理解する。</p> <p>②諸事象の背景や原因,結果や影響,事象相互の関連,諸地域相互のつながりなどに着目し,主題を設定し,諸資料を比較し関連付けて読み解き,冷戦の展開,第三世界台頭の背景などを多面的・多角的に考察し,表現する。</p> <p>③諸資料を活用し,課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</p>	学習計画		●	●	
					調査プレゼン		●	●	
					発表レポート	●	●	●	
					評価レポート	●	●	●	
ポートフォリオ					●	●	●		
1	1	1	単元テスト			●	●	●	
12	4	第4章 科学技術の高度化と知識基盤社会	<p>主題を設定し,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き,現代の科学技術や文化の歴史的な特色,第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを考察したり表現したりして,知識基盤社会の展開と課題を理解する。</p> <p>①科学技術,医療技術,生命倫理,人工知能,などを基に,知識基盤社会の展開と課題を理解する。</p> <p>②科学技術と知識基盤社会に関わる諸事象の背景や原因,結果や影響,関連などに着目し,主題を設定し,諸資料を比較し関連付けて読み解き,科学技術や文化の歴史的な特色,政治・経済・社会の変化との関連性などを考察し,表現する。</p> <p>③諸資料を活用し,課題を追究し解決する活動に主体的に取り組む。</p>	学習計画		●	●		
				調査プレゼン		●	●		
				発表レポート	●	●	●		
				評価レポート	●	●	●		
				ポートフォリオ	●	●	●		
18	第5章 地球世界の課題の探究	<p>「国際機構の形成と平和への模索」,「経済のグローバル化と格差の是正」,「科学技術の高度化と知識基盤社会」で学習した事項を参考にして,持続可能な社会の実現を視野に入れ,「地球世界の課題の形成に関わる」主題について,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き,多面的・多角的に考察,構想して探究し,地球世界の課題を理解する</p> <p>①持続可能な社会の実現を視野に入れ,主題を設定し,歴史的経緯を踏まえて,地球世界の課題を理解する。</p> <p>②地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因,結果や影響,事象相互の関連,諸地域相互のつながりなどに着目し,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き,地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について,多面的・多角的に考察,構想し,表現する。</p> <p>③諸資料を活用し,課題を追究し解決する活動に主体的に取り組む。</p>	学習計画		●	●			
			発表プレゼン		●	●			
			発表レポート	●	●	●			
			小論文	●	●	●			
			ポートフォリオ	●	●	●			
1	1	1	単元テスト			●	●	●	

2024年度 数学科 シラバス・年間指導計画

科目名	数学C			教科書	新編 数学C (数研出版)
学年	3	単位数	2	選択	書き込み式シリーズ 教科書傍用 Study-Up ノート 新課程 標準 数学C (数研出版)

学習目標	ベクトル, 複素数平面について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを活用する態度を育てる。
学習の進め方	テキストプリントを配布する。授業は講義やグループワーク等を通じて進める。クロムブック等も活用する。演習等にも時間をかけるようにする。特に予習の必要はないが, しっかり復習をすること。復習・まとめのための課題を課すこともある。教科内容を単に暗記するのではなく, 得た知識を整理し, それを活用して数学的な考え方を自らの頭でしっかり実践し, 問題にあたりその解決を目指すことが大切である。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① ベクトル, 複素数平面において, 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
	② 事象を数学的に考察し表現したり, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して, ベクトル, 複素数平面における数学的な見方や考え方を身に付けている。
	③ ベクトル, 複素数平面に関心をもつとともに, それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	1	オリエンテーション						
	4・5	11	第1章 平面上のベクトル	第1節 ベクトルとその演算 ・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積恒等式	① ・ベクトルの向き, 相等について理解している。 ・ベクトルの加法, 減法, 実数倍の計算の仕組みを理解している。 ・有向線分で表されたベクトルについて, 和, 差, 実数倍を考察できる。 ・有向線分で表されたベクトルを, 2つのベクトルの和, 差に表現できる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ, 和, 差, 実数倍の計算ができる。 ・図形の性質をベクトルで表現して扱うことができる。 ・ベクトルの大きさとなす角から, または成分表示されたベクトルについて, 内積を求めることができる。 ・ベクトルのなす角を, 内積を利用して求めることができる。 ・内積の性質(計算法則)を理解し, 計算に利用できる。	単元テスト・ポートフォリオ		●	●
前期	5・6			② ・和や差における逆ベクトル, 零ベクトルの役割を理解している。 ・内積は実数であることを理解している。 ・内積でベクトルの大きさが考察できることを理解している。 ③ ・ベクトルの演算に興味をもち, 数式の演算法則との類似点を考察しようとする。 ・ベクトルの内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。 ・三角形の面積が内積で表されることに興味・関心をもち, 問題解決に利用しようとする。					
	6	1	前期中間試験				●	●	●
前期	6・7	9	第1章 平面上のベクトル	第2節 ベクトルと平面図形 ・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる表示	① ・線分の内分点・外分点を位置ベクトルで表す公式を理解している。 ・線分の内分点・外分点を位置ベクトルで表す公式を, 実際の図形に適用できる。 ・図形上の頂点に関する位置ベクトルを定めて, 図形を考察できる。 ・図形の性質を, 位置ベクトルを利用して証明できる。	小テスト・レポート		●	●

				<ul style="list-style-type: none"> ・直線のベクトル方程式の媒介変数処理ができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。 ・ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用できる。 ・直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線の方程式と関連付けることができる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・メネラウス、チェバの両定理に興味をもち、ベクトルの問題に利用しようとする。 ・ベクトルを用いて円の性質を考察する意欲がある。 ・直線のベクトル方程式を積極的に活用しようとする。 				
前期	7・8・9	13	第2章 空間のベクトル <ul style="list-style-type: none"> ・空間の点 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形 	① <ul style="list-style-type: none"> ・空間のベクトルを、与えられた3つのベクトルで表すことができる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍および内積が計算ができる。 ・ベクトルのなす角を、内積を利用して求めることができる。 ・垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 ・ベクトルの諸性質が平面の場合と同じであることを理解して、それらを利用できる。 ・3点が定める平面上に点Pがあることを、ベクトルで表現して利用できる。 ・3点が一直線上にあることをベクトルで表現して利用できる。 ・位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。 ・座標空間における線分の内分点・外分点の座標が求められる。 ・いろいろな球面の方程式が求められる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・空間のベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察できる。 ・ベクトルの内積を、平面から空間へ拡張して考察できる。 ・空間における図形を、1つの頂点に関する位置ベクトルで考察できる。 ・空間ベクトルを利用して、線分の長さ、分点の座標などを考察できる。 ・球面と平面が交わってできる図形を、連立方程式の解の集合として考察できる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・四面体の重心に興味をもち、その性質を位置ベクトルで考察しようとする。 ・3点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用しようとする。 ・球面の方程式に興味をもち、一般的な考察をしようとする。 	単元テスト・ ポートフォリオ	●	●	●
	8	1	前期期末試験			●	●	●
後期	10・11・12	18	第3章 複素数平面 <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形 	① <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面の定義を理解してる。 ・複素数の絶対値の定義および図形的意味を理解している。 ・複素数の和、差、実数倍の、複素数平面における図形的意味を理解している。 ・極形式の定義を理解し、複素数を極形式で表すことができる。 ・複素数の積、商の絶対値、偏角の性質を理解し、それらを求めることができる。 ・複素数の乗法、除法の図形的意味を理解し、活用することができる。 ・ド・モアブルの定理を利用して、複素数のn乗を計算することができる。 ・線分の内分点、外分点や三角形の重心を表す複素数を理解し、求めることができる。 				

後期				<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極形式を利用することで、複素数の乗法、除法の図形的意味が明らかになることを理解している。 ・複素数のn乗根の定義と図形的意味を理解し、極形式を利用してn乗根を求めることができる。 ・複素数の方程式を満たす点全体について考察し、その意味を考えることや計算で求めることができる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面を考えることにより、複素数の図形的側面が明らかになることを理解しようとする。 ・極形式の有用性を理解し、乗法と除法の図形的意味を理解しようとする。 ・ド・モアブルの定理の有用性に興味・関心を持ち、活用しようとする。 ・複素数平面上の円、直線を複素数の方程式で表すことに興味・関心を持ち、種々の図形の性質を、複素数を利用して考察しようとする。 	単元テスト・ポートフォリオ		●	●
	12	1	後期中間試験				●	●

2024年度 数学科 シラバス・年間指導計画

科目名	発展数学				教科書
学年	3	単位数	2	選択Ⅲ	副教材
新編 数学Ⅲ (数研出版) 書き込み式シリーズ 教科書傍用 Study-Up ノート 新課程 標準 数学Ⅲ (数研出版)					

学習目標	分数・無理関数、数列・関数の極限を学ぶ。さらには超越関数の微分法及び積分法の基礎的な部分までの理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図る。さらに、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
学習の進め方	テキストプリントを配布する。数学Ⅲの教科書を副教材として使用する。授業は講義やグループワーク等を通じて進める。クロムブック等も活用する。演習等にも時間をかけるようにする。特に予習の必要はないが、しっかり復習をすること。復習・まとめのための課題を課すこともある。教科内容を単に暗記するのではなく、得た知識を整理し、それを活用して数学的な考え方を自らの頭でしっかり実践し、問題にあたりその解決を目指すことが大切である。
評価の観点	観点の趣旨や到達目標 ①…知識・技能 ②…思考・判断・表現 ③…主体的に学習に取り組む態度
	① 極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
	② 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。
	③ 極限、微分法及び積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	評価規準	評価方法	観点別評価		
							①	②	③
前期	4	I	オリエンテーション						
	4 ・ 5 ・ 6	II	第1章 関数	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数 	① ・分数関数の定義を理解し、グラフをかくことができる。 ・連立方程式を解くことで、分数関数のグラフと直線の共有点の座標を求めることができる。 ・グラフを利用することで、分数不等式・無理不等式を解くことができる。 ・無理関数の定義を理解し、グラフをかくことができる。 ・逆関数の定義や求める手順を理解し、種々の関数の逆関数を求めることができる。 ・指数関数と対数関数が互いに逆関数となっていることを理解している。 ② ・分数不等式の解を、グラフと直線の上下関係に読み替えることができる。 ・無理不等式の解を、グラフと直線の上下関係に読み替えることができる。 ・逆関数の定義から、逆関数の定義域・値域や性質を考察することができる。 ・合成関数の定義や求める手順を理解し、種々の関数の合成関数を求めることができる。	単元テスト ポートフォリオ	●	●	●

前期				③ ・分数関数のグラフと直線について、共有点の座標の意味を考え、その求め方を考察しようとする。 ・分数不等式の解の意味を考え、グラフを用いて考察しようとする。 ・無理不等式の解を、グラフと直線の上下関係に読み替えることができる。 ・逆関数、合成関数の考え方に興味・関心を示し、具体的な問題に取り組もうとする。					
	6	1	前期中間試験				●	●	●
	7 ・ 8 ・ 9	23	第2章 極限 第1節 数列の極限 ・数列の極限 ・無限等比級数 ・無限級数 第2節 関数の極限 ・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性	① ・数列や簡単な関数の極限を求めることができる。 ・不定形を解消するなど、数列や関数の式を適切に変形することで、極限を求めることができる。 ・無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求めることができる。 ・漸化式で表された数列の一般項を求め、数列の極限を求めることができる。 ・無限級数、無限等比級数の定義を理解し、収束・発散について調べることができる。 ・極限の等式を成り立たせる必要条件を求めて、その十分性を確認することで関数の式の係数を決定することができる。 ・公式を利用して、三角関数を含む様々な関数の極限值を求めることができる。 ・定義に基づいて、様々な関数の連続性、不連続性を判定することができる。	レポート ポートフォリオ		●	●	
	9	1	前期期末試験				●	●	●
後期	9 ・ 10	23		② ・無限等比数列を、公比の値で場合分けし、その極限を考察することができる。 ・無限級数の収束・発散を、部分和の極限を調べることで考察することができる。 ・関数の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる。 ・直観的に中間値の定理を理解し、それを用いて方程式の実数解の存在を考察することができる。 ③ ・不定形の数列や関数の式を、不定形を解消するように工夫して変形しようとする。 ・「はさみうちの原理」を用いて極限を求める方法に、興味・関心をもつ。 ・項を「無限に加える」ということを、数学的に定義する方法を理解しようとする。 ・繰り返しを含む図形的な問題に興味をもち、無限等比級数を利用して考察することができる。 ・従来の定理とは異なる、存在定理として中間値の定理に興味・関心を示す。	ポートフォリオ		●	●	
	9 ・ 10	18	第3章 微分法 第1節 導関数 ・微分係数と導関数 ・導関数の計算 第2節 いろいろな関数の導関数 ・いろいろな関数の導関数 ・第n次導関数 ・曲線の方程式と導関数	① ・微分係数、微分可能の定義と、その図形的意味を理解している。 ・導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分することができる。					

				<ul style="list-style-type: none"> ・自然対数の底 e の定義と、導関数の性質、積・商の導関数、合成関数および三角関数・対数関数・指数関数の導関数を理解し、種々の導関数の計算に利用することができる。 ・対数微分法を利用して、複雑な関数を微分することができる。 ・媒介変数 t で表された関数の導関数を、t の関数として表すことができる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分係数の 2 通りの表し方を理解し、その図形的意味を考察することができる。 ・微分可能性を、定義に基づいて考察することができる。 ・導関数を、微分係数から得られる新しい関数として理解することができる。 ・α の範囲を自然数、整数、有理数と拡張しながら、$(x^\alpha)' = \alpha x^{\alpha-1}$ を証明していく考え方や方法を理解している。 ・高次導関数の計算において、第 n 次導関数の形を予想することができる。 				
				<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分係数の図形的意味を考察しようとする。 ・微分可能性と連続性の関係について、興味・関心をもつ。 ・様々な導関数の性質や計算方法に興味をもち、具体的な問題に取り組もうとする。 ・$(x^\alpha)' = \alpha x^{\alpha-1}$ において、α の範囲が自然数、整数、有理数と拡張されていくことに興味・関心を示す。] ・自然対数の底 e を考える必要性に興味をもち、考察しようとする。 ・陰関数 $F(x, y) = 0$ を微分する方法の簡便さに関心を示す。 				
10 ・ 11 ・ 12	18	第4章 積分法	<p>第1節 不定積分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分 <p>第2節 定積分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・定積分のいろいろな問題 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる。 ・様々な工夫によって被積分関数を変形することで、不定積分を求めることができる。 ・定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の定積分を計算できる。 ・定積分の置換積分法、部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の定積分を計算できる。 ・上端が変数 x である定積分で表された関数の扱い方を理解している。 ・関数の大小とその関数の定積分の大小との関係について理解している。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分法の逆演算として、不定積分を計算することができる。 ・合成関数の微分の逆演算として、置換積分法を理解することができる。 ・積の微分の逆演算として、部分積分法を理解することができる。 ・絶対値を含む関数の定積分が面積を表していると考えて、定積分の計算を考察することができる。 ・置換積分法を利用して、円の面積を求める公式が数学的にきちんと証明できたことを理解することができる。 	単元テスト ポートフォリオ	●	●	●

				<ul style="list-style-type: none"> ・曲線で囲まれた部分の面積を微少な長方形で近似する積分の基本的な考え方に興味・関心をもつ。 				
10 ・ 11 ・ 12	18			<ul style="list-style-type: none"> ③ ・積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。 ・簡単に不定積分の計算ができないとき、被積分関数の特徴から置換積分や部分積分を利用しようとする。 ・曲線で囲まれた部分の面積を微少な長方形で近似する積分の基本的な考え方に興味・関心をもつ。 				
6	1	後期期中間試験				●	●	●